

取扱説明書(WEB)

スマート液晶テレビ

型番:LT-24WGX-F1/LT-32WGX-F1/LT-40FGX-F1



※イラストは、特に記載のないものはすべて LT-32WGX-F1 です。

このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- ・ 一般家庭用以外でご使用にならないでください。
無料保証の対象外になることがあります。
- ・ この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ・ ご使用前に「[安全上の注意 P11](#)」を必ずお読みください。
- ・ WEB マニュアルの使いかたは、「[WEB マニュアルの使いかた P2](#)」をご確認ください。

この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

WEB マニュアルの使いかた

ここでは「WEB マニュアル」の使いかたを案内します。

当サイトは下記のブラウザでの使用を推奨しています。

- ・Microsoft Edge ブラウザ(最新版)
- ・Google Chrome ブラウザ(最新版)

—WEB マニュアルについて

■スマートフォン



■パソコン



① メニュー一覧/検索 切替ボタン(スマートフォンのみ)

☰ をタップするとメニュー一覧/検索画面が表示されます。

✕ を押すと元の画面に戻ります。

② 製品名、型番

お問い合わせ時には、製品名と型番をご連絡お願いいたします。

③ ページ内リンク

選択すると、ページ内の該当情報が表示されます。

④ 関連ページリンク

選択すると、WEB サイトや WEB マニュアル内の該当ページが表示されます。

⑤ メニュー

選択すると、メニュー一覧が表示されます。検索タブと切り替えて使用します。

⑥ メニューリスト

メニュー一覧を表示させます。

⑦ 検索タブ

選択すると、目的の情報を検索できるようになります。メニュータブと切り替えて使用します。

一 検索について

■スマートフォン



■パソコン



⑧ フリーワード検索

キーワードを入力することで、目的の情報を検索することができます。

⑨ 検索リスト

検索した結果が表示されます。選択すると、WEB マニュアル内の該当ページが表示されます。

- ・ デザインおよび仕様は予告なく変更することがあります。
- ・ Microsoft Edge は Microsoft Corporation の商標です。
- ・ Google Chrome は Google LLC の商標です。

もくじ

主な特長.....	9
ご使用の前に.....	11
安全上の注意.....	11
使用上の注意.....	17
付属品を確認する.....	20
各部の名称.....	23
本体(LT-24WGX-F1).....	24
本体(LT-32WGX-F1).....	26
本体(LT-40FGX-F1).....	28
接続パネル.....	30
リモコン.....	32
設置とアンテナの接続.....	35
スタンドを取り付ける.....	35
壁掛けで使用するとき.....	37
アンテナの接続について.....	39
地上デジタル放送.....	40
BS・110 度 CS デジタル放送.....	41
レコーダーをつなぐとき.....	44
アンテナを調整する.....	46
準備.....	47

miniB-CAS カードを入れる.....	47
電源の接続.....	49
リモコンの準備.....	50
はじめて電源を入れたときの設定.....	52
Google TV のホーム画面.....	55
外部機器と接続する.....	57
録画用ハードディスク.....	58
ブルーレイレコーダーやパソコン(HDMI/AV).....	63
オーディオ機器(ARC 対応 HDMI).....	64
オーディオ機器(光デジタル音声).....	65
ヘッドホン.....	66
ネットワークに接続する.....	67
接続のしかた.....	67

テレビを見る..... 69

電源を入れる.....	69
電源を入れる.....	69
電源をスタンバイモードにする／切る.....	70
テレビを見る.....	71
番組表を使う.....	73
データ放送を見る.....	76
外部入力 of 画面に切り替える.....	77

テレビ番組を録画する..... 78

録画機能について.....	78
録画リスト.....	80
予約リスト.....	81
番組表から録画予約する.....	82
予約の確認・変更・取り消し.....	84
見ている番組を録画する.....	85
録画を中止する.....	86
録画した番組を見る.....	87
録画した番組を削除する.....	89
オートチャプター機能.....	90
予約・録画の優先順位について.....	91

その他の機能..... 92

タイマー.....	92
音声でコンテンツを検索する.....	93
Bluetooth 接続をする.....	94
Google TV での文字入力.....	96
便利な機能.....	98
メディアプレイヤーとして使用する.....	100

設定メニュー..... 102

各種設定.....	102
テレビ設定.....	106
設定の初期化.....	108

お手入れ.....	109
こんなときは.....	110
まずはじめにご確認ください.....	110
こんなときは異常ではありません.....	111
故障かな？と思ったら.....	112
その他の情報.....	124
仕様.....	124
商標.....	126
保証とアフターサービス.....	127
動作確認済み外付け USB ハードディスクについて.....	128
ソフトウェアについて.....	129
お問い合わせについて.....	130

主な特長

— 地上／BS／110 度 CS デジタルチューナー内蔵

- ・ 本機は以下の 3 種類のデジタル放送を受信できます。
地上デジタル放送
BS デジタル放送
110 度 CS デジタル放送
- ・ 電子番組表 (EPG) で視聴番組を選んだり録画予約をすることもできます。

関連ページ

- ・ [地上デジタル放送 P40](#)
- ・ [BS・110 度 CS デジタル放送 P41](#)
- ・ [テレビを見る P71](#)

— アンテナについて

- ・ 地上デジタル放送を受信するには、全帯域型または地上デジタル放送対応型の UHF アンテナが必要です。
- ・ BS・110 度 CS デジタル放送を受信するには、BS・110 度 CS デジタル用アンテナが必要です。
- ・ ケーブルテレビまたは共聴・集合住宅施設でデジタル放送を受信する場合は、ケーブル事業者または共聴施設管理者にお問い合わせください。

関連ページ

- ・ [アンテナの接続について P39](#)
- ・ [地上デジタル放送 P40](#)
- ・ [BS・110 度 CS デジタル放送 P41](#)
- ・ [アンテナを調整する P46](#)

— 外付け USB ハードディスクで録画に対応

- ・ 市販の外付け USB ハードディスクを接続して登録すると、本機で受信した番組を録画して楽しむことができます。

関連ページ

- ・ [録画用ハードディスク P58](#)
- ・ [テレビ番組を録画する P78](#)

— オンタイマー／オフタイマー

- ・ 設定した時刻に電源を入れたり、自動的に電源を切ったりできます。

関連ページ

- [オフタイマー P92](#)

— HDMI 端子で AV 機器と接続

- HDMI 対応のブルーレイ / DVD プレーヤーや HDD レコーダーなどの AV 機器と接続することができます。

関連ページ

- [ブルーレイレコーダーやパソコン\(HDMI/AV\) P63](#)

ご使用前に

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよくお読みいただき、正しくお使いください。

人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

→ [警告 P11](#)

→ [注意 P15](#)

図記号の意味

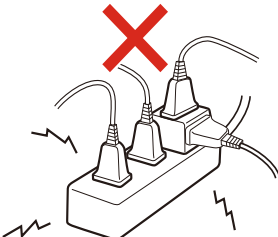
		
注意を促す記号です。	禁止を示す記号です。	必ず行うことを示す記号です。



誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

— 電源プラグ・電源コードは正しく使う

	- 電源プラグのほこりは定期的に取り ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。 - 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む ショートによる火災・感電の原因になります。
	お手入れや移動のときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く 感電やけがの原因になります。
	ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない 感電・やけど・けがの原因になります。
	雷が鳴り出したら電源プラグに触れない 感電のおそれがあります。
	- 交流 100V 以外では使用しない - 海外で使用しない 火災・感電の原因になります。 本製品は日本国内専用です。船舶の電源や発電機、電圧の異なる海外の電源では使用しないでください。

	・ 乳幼児に電源プラグを触らせない けがや感電の原因になります。
	・ 電源コードを束ねて通電しない 過熱してやけど・火災の原因になります。 電源コードは、必ずのばして使用してください。 ・ 電源コードを傷つけない ・ 電源コードを引っ張らない 傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものを載せる、挟み込むなどしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。 ・ コンセントや延長コードなどの定格を超える使いかたをしない 
	・ 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときはコンセントから電源プラグを抜く ショートによる火災・感電の原因になります。 電源コードが破損したときは、アイリスコール P130 (☎ 電話をかける) へお問い合わせください。
	・ 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く 発煙・火災・感電のおそれがあります。 〔異常の例〕 - 異常な音やにおいがする - 煙が出ている - 内部に水や異物が入った - 本製品を落したり、本製品の一部を破損した - 正常に動作しない(画面が映らない、音が出ない) - 電源コードやプラグに傷がある ➡ 使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコール P130 (☎ 電話をかける) へお問い合わせください。

—設置について

	・ 不安定な場所に設置しない 落下すると、死亡や重大なけがの原因になります。 特に子どもに対する傷害は、多くの場合、以下の予防処置をすることで回避できます。 ・ テレビ台を使用するときは、テレビの設置面が平らで、十分に強度があり、ぐらつかないものを使用する ・ テレビ台に載せるときは、テレビの脚が台からはみ出さないようにする ・ 背の高い台に載せるときは、テレビと家具の両方に転倒防止処置をする ・ テレビの下に、布など不安定になるものを敷かない ・ テレビを操作するために台の上によじ登ると危険であることを子どもに教え、実際によじ登らないよう注意する
	・ 台などに設置するときは、必ず付属のスタンドを取り付ける 転倒して、重大なけがの原因になります。 付属以外のスタンドなどは使用しないでください。

—取り扱いについて

 分解禁止	・ 分解・修理・改造をしない 火災・感電・けがの原因になります。 修理技術者以外の方が修理を行うことは危険です。修理については、お買い上げの販売店または アイリスコール P130 (☎ 電話をかける) にご相談ください。
	・ 内部に異物や水分を入れない 水や異物が入ると火災や感電の原因になります。特にお子様のいるご家庭では注意してください。 ・ 通風孔から金属類や燃えやすいものを内部に差し込んだり、落とし込んだりしないでください。 ・ 本製品の上に水の入った容器や植木鉢、小さな金属類(安全ピンやヘアピンなど)を置かないでください。 ・ 水がかかるような場所では使用しないでください。 ・ ペットの体毛や糞尿が内部に入らないようにしてください。
	・ 通風孔をふさがない 布をかけたり、壁などに密接して、通風孔をふさがないでください。 過熱して火災や感電の原因になります。 ・ 密閉したラックの中に入れないでください。 ・ カーペットや布団のような柔らかいものの上に置かないでください。 ・ 設置の際は周囲から 10cm 以上の間隔を空けてください。



- ・ 乾電池の液がもれたときは素手で液に触れない

失明の原因になります。液が目に入ったときは目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い、直ちに医師の治療を受けてください。

液が身体や衣服に付いたときも、やけどやけがの原因になります。すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。



誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、財産の損害が発生するおそれがある内容を示しています。

－ 取り扱いについて

	・ 液晶パネルを強く押したり、強い衝撃を与えたりしない 液晶パネルが割れてけがの原因になります。 液晶パネルが割れた場合、パネル内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症などの原因になります。 万一パネル内部の液体が口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。また、目に入ったり皮膚に付着した場合は、きれいな水で最低 15 分以上洗浄した後、医師の診察を受けてください。
	・ 長期間使わないときは、電源プラグを抜く 絶縁低下による漏電により、火災・感電の原因になります。
	・ 湿気・ほこり・油煙・湯気の多い場所、直射日光の当たる場所では使用しない 火災や感電の原因になります。
	・ 梱包用の袋や小さな部品を乳幼児の手が届くところに置かない 袋をかぶったり、小さな部品を誤って飲み込んだりすると、窒息の原因になります。

－ 壁掛けで使用するとき

	・ 壁掛け金具の取り付けは、必ず専門の業者に依頼する 専門の業者以外が取り付けたり、壁への取り付けが不適切だった場合、本製品が落下して、大けがの原因になります。 ・ 垂直な面に、取り付け角度 0°で設置する 本体を傾けて設置したり、傾斜した壁面へ設置したりすると、落下してけがや床などが損傷するおそれがあります。
--	--

－ リモコンの電池についての注意

	・ 電池を入れるときは、極性表示(プラス⁺とマイナス⁻の向き)に注意し、説明書の通りに正しく入れる 間違えると、破裂・液もれにより、火災・けが、周囲を汚損する原因になります。
--	---

	・ 長期間使用しないときは電池を取り出しておく 液がもれて、火災・けが・周囲の汚損の原因になります。 液がもれた場合は、電池ケースに付いた液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。 万一、もれた液が身体に付いたときは、水でよく洗い流してください。
	・ 金属製の小物類と一緒に携帯・保管しない ショートして液もれや破裂の原因になることがあります。 ・ 指定以外の電池は使用しない 過熱・破裂・液もれにより、火災やけが、周囲を汚損する原因になることがあります。 ・ 乾電池は絶対に充電しない 破裂・液もれにより、火災・けが・やけどの原因になります。 ※充電式電池を除く。
 分解禁止	・ 分解しない 皮膚や衣服を損傷することがあります。

使用上の注意

— miniB-CAS カードについて

- ・ 付属の miniB-CAS カードは、デジタル放送を視聴していただくために、お客様に貸与された大切なカードです。破損や紛失などの場合は、直ちに B-CAS カスタマーセンターへご連絡ください。(→[miniB-CAS カードを入れる P47](#))
お客様の責任で破損、故障、紛失などが発生した場合は、再発行費用が請求されます。

— 本書の表記と内容について

- ・ 本製品の仕様および機能などは、ファームウェアの更新などにより予告なく変更されることがあります。
- ・ 本書に記載されている本体や画面などのイラストは、実際とは異なる場合があります。実際に表示される画面で確認してください。

— 液晶パネルについて

- ・ 液晶パネルには、画面の一部に欠点(黒い点)や輝点(余計に光る点)が存在する場合があります。これは故障ではありませんのでご了承ください。
- ・ 液晶の特性により、室温が低い場合は画像がぼやけたり、動きがスムーズに見えないことがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。
- ・ 液晶パネルはバックライトが発光することにより画像を表示していますが、バックライトには寿命があります。常温での使用時に画像が暗くなるようになったら、[アイリスコール P130](#)(☎ [電話をかける](#))へご相談ください。

— 本製品の温度について

- ・ 本製品は、長時間使用したときなどに、パネル表面や上部が熱くなる場合がありますが、故障ではありません。また、熱で変形しやすいものを上に置かないでください。

— 輸送・設置について

- ・ 本体を横倒しにして輸送した場合、パネルガラスの破損や欠点の増加のおそれがありますので、横倒しで輸送しないでください。
- ・ 本棚などの通気の悪い場所に設置するときは、本体と周囲との間に十分なスペースを空けてください。

— 地上／BS／110 度 CS デジタル

- ・ 本製品は以下のデジタル放送を受信できます。
地上デジタル放送
BS デジタル放送
110 度 CS デジタル放送
電子番組表 (EPG) で視聴番組を選んだり録画予約をすることもできます。(→ [番組表を使う P73](#)、[録画機能について P78](#))

— アンテナについて

- ・ 地上デジタル放送を受信するには、全帯域型または地上デジタル放送対応型の UHF アンテナが必要です。
- ・ BS・110 度 CS デジタル放送を受信するには、BS・110 度 CS デジタル用アンテナが必要です。(→ [アンテナの接続について P39](#))
- ・ ケーブルテレビまたは共聴・集合住宅施設でデジタル放送を受信する場合は、ケーブル事業者または共聴施設管理者にお問い合わせください。

— 電波法に基づく認証について

本製品内蔵の無線装置は、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。証明表示は無線設備上に表示されています。したがって、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

ただし、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。使用上の注意に反した機器の利用に起因して電波法に抵触する問題が発生した場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。

- ・ 本製品内蔵の無線装置を分解／改造すること。
- ・ 本製品内蔵の無線装置に貼られている証明ラベルをはがすこと。

廃棄するときは

- ・ 本製品は家電リサイクル法の対象製品です。家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの液晶テレビを廃棄される場合は、収集運搬料金、再商品化等料金 (リサイクル料金) をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。
- ・ 本製品を廃棄するときは、個人情報の消去をしてください。(→ [設定の初期化 P108](#))
リモコンの  > [すべての設定] > [システム] > [デバイス情報] > [リセット] > [出荷時設定] を選んでリモコンの  を押す。リセットが完了すると自動的に再起動します。「ようこそ」が表示されたら電源を切ってください。
※注意: 各プロバイダーとの契約は消去されないのでプロバイダーにご相談ください。
- ・ データ放送の個人情報 (住所・氏名・視聴ポイント数など) についても初期化されます。初期化すると初期化前の状態に戻すことはできないのでご注意ください。

— 無線 LAN／Bluetooth® について

- ・ 本製品および付属のリモコンは日本国の電波法に基づく無線設備です。分解して使用すると法律で罰せられることがあります。
- ・ 本製品に搭載されている無線 LAN 設備や、本製品および付属のリモコンに搭載されている Bluetooth 機能は、日本国内専用です。海外で使用することはできません。

- ・ 5GHz 帯の W52、W53 の電波を使用して、屋外で通信しないでください。5GHz 帯の W52、W53 の無線設備を屋外で使用することは法令で禁止されています。屋外で本製品の無線 LAN を使用する場合は、5GHz 帯の W56 を使用するか、または 2.4GHz 帯を使用してください。
- ・ 本製品の無線 LAN および Bluetooth 機能が使用する周波数帯は、それぞれ 2.4GHz 帯/5GHz 帯と 2.4GHz 帯ですが、他の無線機器も同じ周波数を使用している場合があります。本製品に内蔵の無線 LAN や、本製品および付属のリモコンの Bluetooth 機能をお使いになる場合は、他の無線機器との間で電波干渉が発生しないように、以下の注意事項に留意してご使用ください。

本製品の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. 本製品の無線機能を使用する前に、近くで他の無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに電波の使用を停止した上、[アイリスコール P130](#)(☎ [電話をかける](#))にご連絡ください。
3. その他、何かお困りのことが起きたときは、[アイリスコール P130](#)(☎ [電話をかける](#))へお問い合わせください。

- ・ 本製品の無線 LAN は、以下の規格に対応しています。無線 LAN アクセスポイントも、この規格に対応した製品を使用してください。

- ・ IEEE802.11b/g/n
- ・ IEEE802.11a/n/ac(W52/W53/W56)

※J52 の無線規格には対応していません。

規格		チャンネル	周波数帯
IEEE802.11b/g/n		1 ~ 13	2.412 ~ 2.472GHz
IEEE802.11a/n/ac	W52	36,40,44,48	5.18 ~ 5.24GHz
	W53	52,56,60,64	5.26 ~ 5.32GHz
	W56	100,104,108,112, 116,120,124,128, 132,136,140	5.50 ~ 5.70GHz

- ・ 無線 LAN の性能や環境条件による影響

無線 LAN のデータ転送速度は、通信距離、障害物などの環境条件、電子レンジ等の電波環境要素、ネットワークの使用状況などに影響されます。

- ・ 製品は IEEE802.11a/b/g/n/ac の規格に準拠していますが、すべての無線 LAN 機器との接続や通信を保証するものではありません。5GHz 帯に対応している無線 LAN をご使用の場合は、5GHz 帯での使用をおすすめします。
- ・ 本製品の近くに無線 LAN ルーターが設置されていると、アクセスポイント選択の一覧に表示されない、電波強度が弱く表示される、または接続に失敗することがあります。このような場合は、本製品と無線 LAN ルーターを離して使用してください。

付属品を確認する

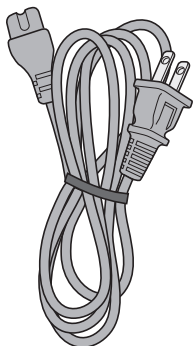
リモコン×1 LT-XRC3

単 4 形乾電池×2(リモコン用)



電源コード

(LT-32WGX-F1 にのみ付属しています。)



取扱説明書

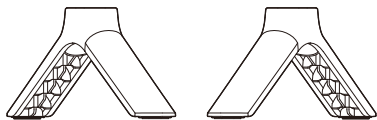


保証書

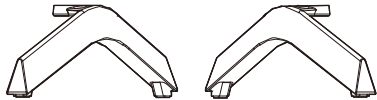


スタンド×2

(LT-24WGX-F1)



(LT-32WGX-F1 / LT-40FGX-F1)

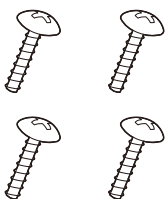


スタンド固定用ねじ×4

(タッピンねじ)

LT-24WGX-F1:ST4×16mm×4 本

LT-32WGX-F1、LT-40FGX-F1:ST4×18mm×4 本)



AV 入力アダプター×1

(LT-32WGX-F1 / LT-40FGX-F1 に付属しています。)



miniB-CAS カード



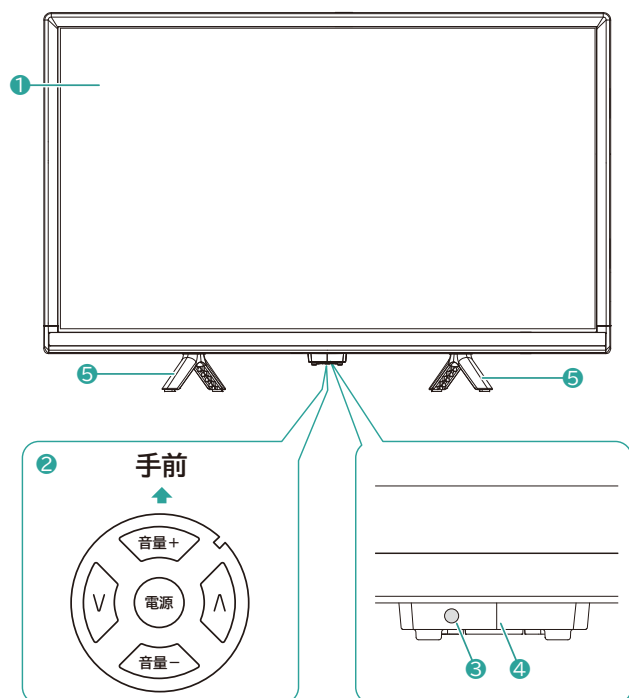
各部の名称

説明は、下記のリンクをクリックしてください。

- [本体\(LT-24WGX-F1\) P24](#)
- [本体\(LT-32WGX-F1\) P26](#)
- [本体\(LT-40FGX-F1\) P28](#)
- [接続パネル P30](#)
- [リモコン P32](#)

本体(LT-24WGX-F1)

—前面



① 液晶パネル

② 本体操作部(底面)

電源／マルチボタン

電源:電源をスタンバイモード/入にします。

長押しするとシャットダウンします。

音量+／-:音量を調節します。

 :選択時に使用します。

③ 電源ランプ

緑:入

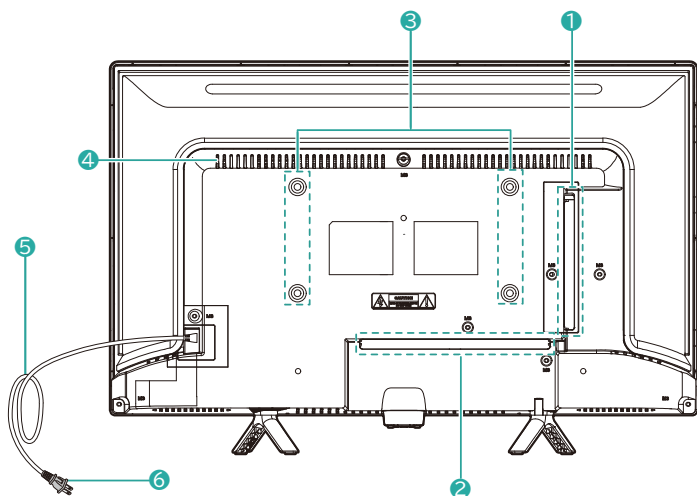
赤:スタンバイモード

④ リモコン受光部

⑤ スタンド

—背面

LT-24WGX-F1



① 入出力端子(本体正面から見て左側面)

② 入出力端子(背面)

③ 壁掛け用ねじ穴(4 か所)

※壁掛け金具を取り付ける場合は、テレビ本体に取り付けてあるねじを使用しないでください。必ず壁掛け金具側で指定されているねじをご使用ください。(→[仕様 P124](#))

④ 通風孔

⑤ 電源コード

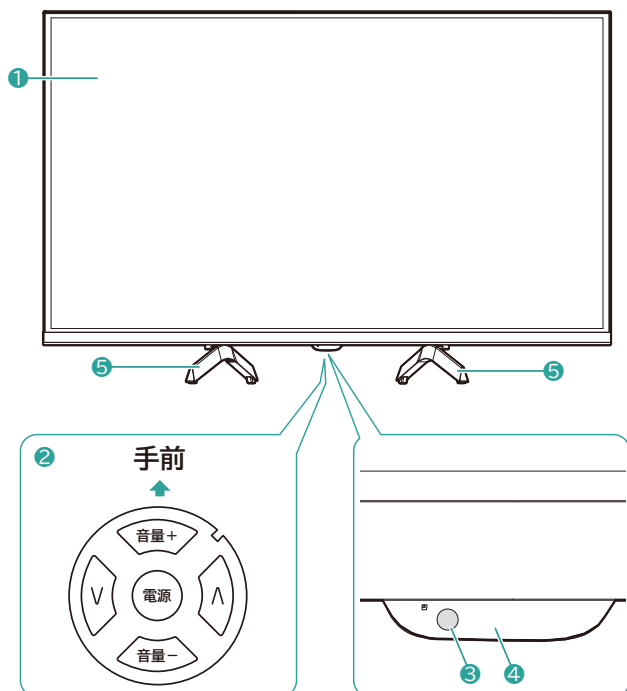
⑥ 電源プラグ

関連ページ

- [付属品を確認する P20](#)
- [接続パネル P30](#)
- [リモコン P32](#)

本体(LT-32WGX-F1)

—前面



① 液晶パネル

② 本体操作部(底面)

電源／マルチボタン

電源:電源をスタンバイモード/入にします。

長押しするとシャットダウンします。

音量+／-:音量を調節します。

 :選択時に使用します。

③ 電源ランプ

緑:入

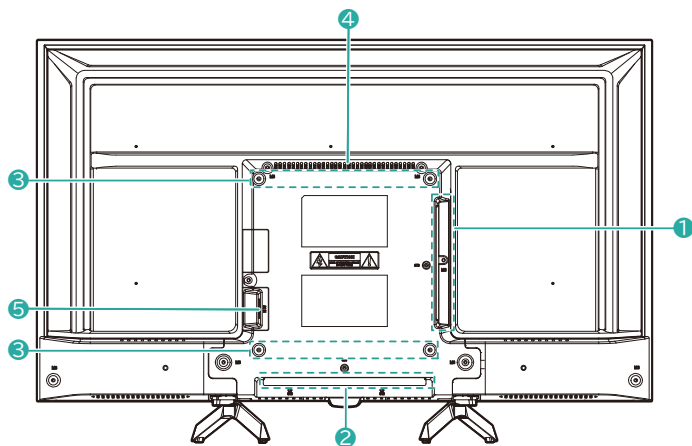
赤:スタンバイモード

④ リモコン受光部

⑤ スタンド

—背面

LT-32WGX-F1



① 入出力端子(本体正面から見て左側面)

② 入出力端子(背面)

③ 壁掛け用ねじ穴(4 か所)

※壁掛け金具を取り付ける場合は、テレビ本体に取り付けてあるねじを使用しないでください。必ず壁掛け金具側で指定されているねじをご使用ください。(→[仕様 P124](#))

④ 通風孔

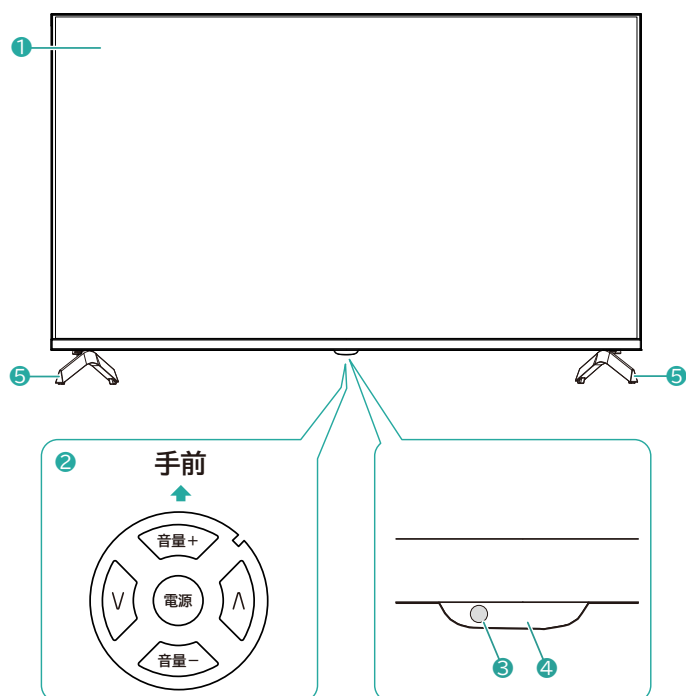
⑤ 電源接続部

関連ページ

- [付属品を確認する P20](#)
- [接続パネル P30](#)
- [リモコン P32](#)

本体(LT-40FGX-F1)

一前面



① 液晶パネル

② 本体操作部(底面)

電源／マルチボタン

電源:電源をスタンバイモード/入にします。

長押しするとシャットダウンします。

音量+/-:音量を調節します。

 :選択時に使用します。

③ 電源ランプ

緑:入

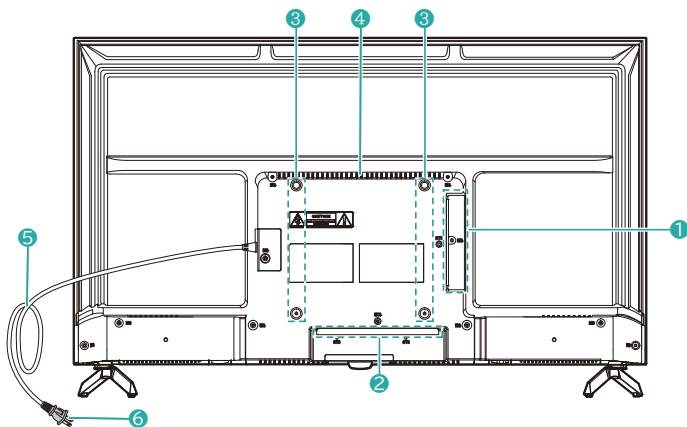
赤:スタンバイモード

④ 電源ランプ/リモコン受光部

⑤ スタンド

—背面

LT-40FGX-F1



① 入出力端子(本体正面から見て左側面)

② 入出力端子(背面)

③ 壁掛け用ねじ穴(4 か所)

※壁掛け金具を取り付ける場合は、テレビ本体に取り付けてあるねじを使用しないでください。必ず壁掛け金具側で指定されているねじをご使用ください。(→[仕様 P124](#))

④ 通風孔

⑤ 電源コード

⑥ 電源プラグ

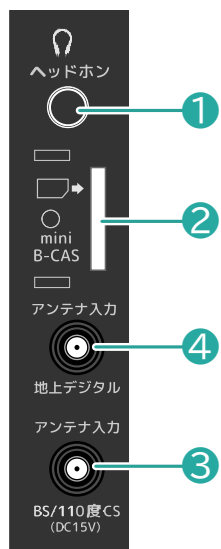
関連ページ

- [付属品を確認する P20](#)
- [接続パネル P30](#)
- [リモコン P32](#)

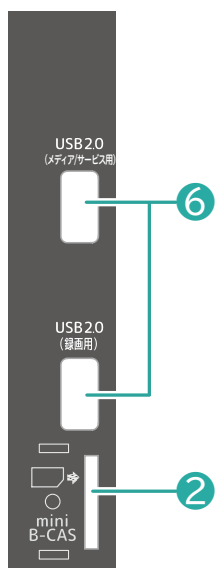
接続パネル

—左側面

LT-24WGX-F1

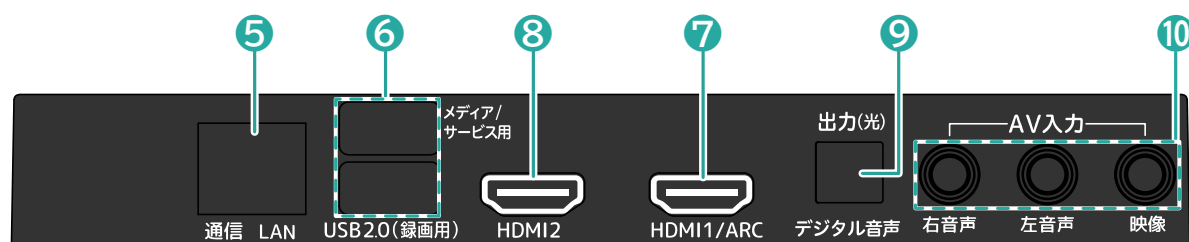


LT-32WGX-F1 / LT-40FGX-F1

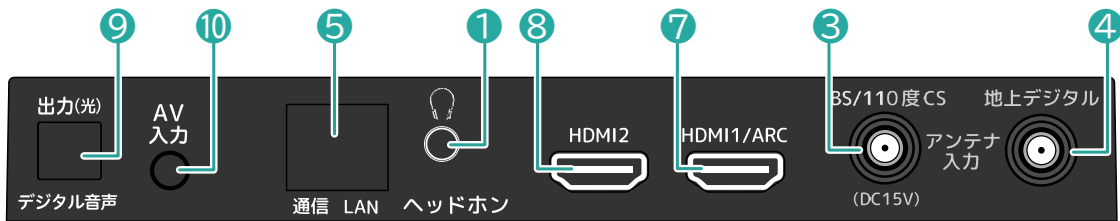


—底面

LT-24WGX-F1



LT-32WGX-F1 / LT-40FGX-F1



① ヘッドホン端子(3.5mm ステレオミニジャック)

ヘッドホンなど 3.5mm ステレオミニプラグのある機器を接続して音声を楽しめます。

② miniB-CAS カード挿入口

③ BS・110 度 CS アンテナ入力端子

BS・110 度 CS デジタル放送を受信するためのアンテナ線(アンテナケーブル)を接続する端子です。

④ 地上デジタルアンテナ入力端子

地上デジタル放送を受信するためのアンテナ線(アンテナケーブル)を接続する端子です。

⑤ LAN 端子

ルーターに接続した LAN ケーブルと接続し、テレビをネットワークに接続します。

⑥ USB2.0 端子

USB ハードディスクや USB メモリーを接続します。

メディア/サービス用: USB メモリーなどを接続して写真や音楽を楽しめます。

録画用: USB ハードディスクを接続してデジタル放送を録画できます。

⑦ HDMI 1入力端子(ARC 対応)

ARC に対応した機器を HDMI ケーブルで接続するときに使用する端子です。通常の HDMI 機器も接続できます。

⑧ HDMI 2入力端子(DVI 対応)

機器を HDMI ケーブルで接続するときに使用する端子です。

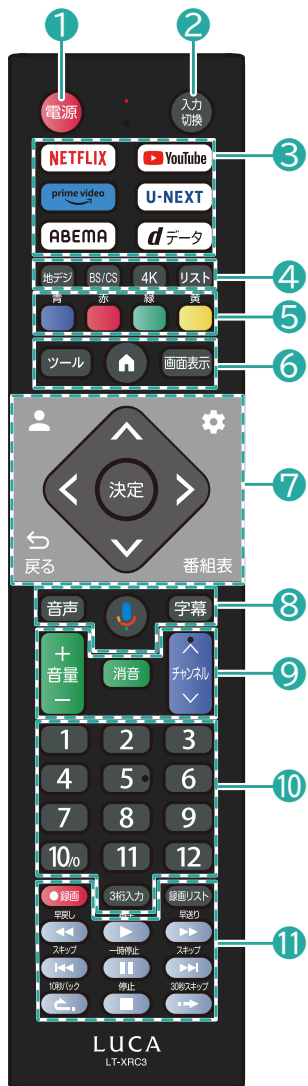
⑨ 光デジタル音声出力端子

AV アンプやデジタルレコーダーなどの光デジタル音声入力端子のある機器に接続して音声を楽しめます。

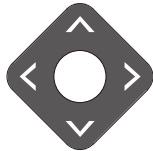
⑩ AV 入力端子

ゲーム機・ビデオカメラなど AV 出力端子を持つ機器と接続するときに使用する端子です。

リモコン



①		テレビの電源を入／スタンバイモードにします。
②		テレビや接続した機器など、視聴する入力を切り換えます。
③		各種サービスに切り換えます。
		データ放送を表示します。
④		受信する放送を選びます。

		※ 本製品は 4K 放送に対応していないため(4K ボタン)はお使いになれません。  を 1 度押すと BS が視聴できます。  をもう 1 度押すと CS が視聴できます。
		放送中の番組リストを表示します。
5		各色のボタンに対応する機能を選択できます。 さまざまな機能ボタンとして使用します。 機能は画面に表示されます。
6		テレビの各種設定ができます。
		ホームメニューを表示します。
		現在受信している番組の情報を表示します。
7		Google アカウントの登録、変更するときに使います。
		設定メニューを表示します。
		1 つ前の操作に戻ります。
		番組表をテレビ画面に表示します。
		操作画面・番組表・設定などで項目を移動します。
		 で選んだ項目を決定します。
8		音声多重放送の場合に、音声を切り換えます。
		Google Assistant を使用できます。

		字幕を切り換えます。
9		音量を調節します。
		音声を一時的に消します。 もう一度押すと消音を解除します。
		チャンネルを順に切り換えます。
10		視聴するチャンネルの選択や数字の入力に使用します。
		3桁の数字でチャンネルを選局します。
11		外付け USB ハードディスクを接続して番組を録画や再生するときに使用します。
		録画番組のリストを表示します。

関連ページ

- ・ [リモコンの準備 P50](#)

設置とアンテナの接続

スタンドを取り付ける

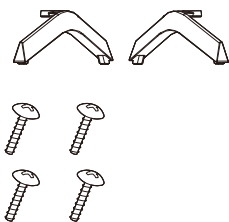
壁掛け設置の場合、スタンドの取り付けは不要です。

！お願い

- ・インパクトドライバーは使用しないでください。
- ・ねじで固定する際に本体が動かないよう、本体を軽く押さえてください。
- ・ねじは最後までしっかりしめてください。

スタンドのパーツを確認する

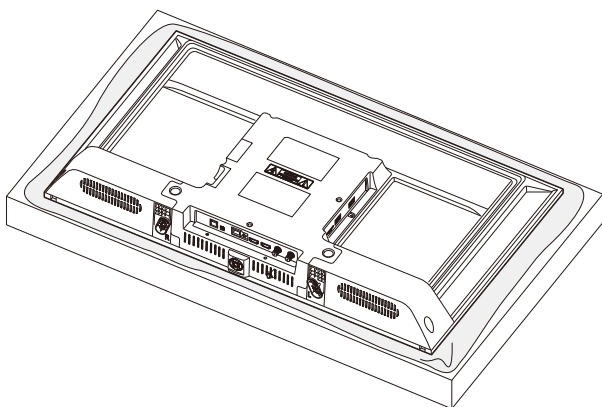
1



毛布などを敷いた台の上に液晶パネルを下向きにしてテレビを置く

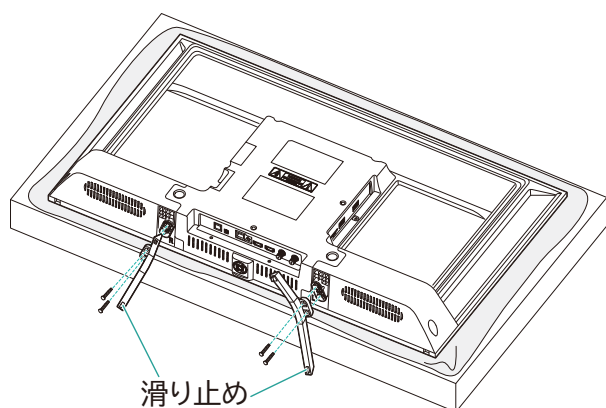
※ゆっくり置いてください。パネルの下には工具などがないように注意してください。パネルが破損するおそれがあります。

2



3

テレビ底面のスタンド取付位置(凹部)に、向きを合わせてスタンドを置き、付属のスタンド固定用ねじ(各2本)で固定する



！お願い

- ・ 本製品には、液晶パネルに保護シートが貼り付けられています。ご使用前にゆっくりとはがしてください。



- ・ 必ず転倒防止対策をする
- ・ 画面を強く握らない
画面を強く握ると、液晶パネルが割れるおそれがあります。
- ・ 液晶パネルを傷つけないよう取り扱いに注意する

関連ページ

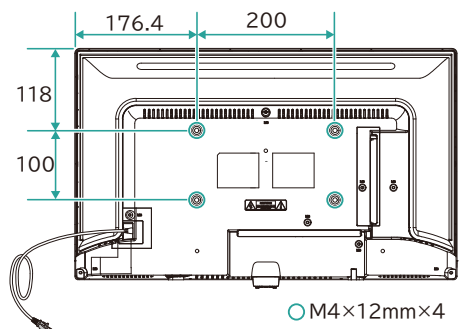
- ・ [壁掛けで使用する時 P37](#)

壁掛けで使用するとき

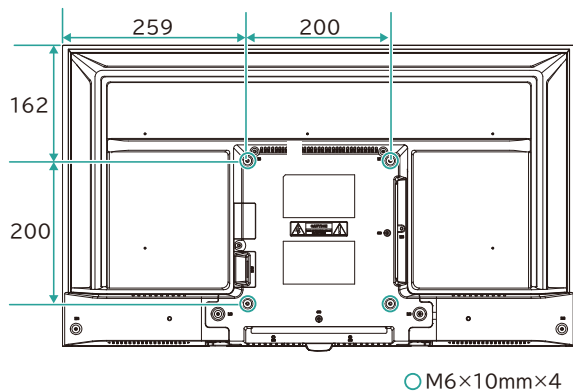
本製品は市販の壁掛け金具を使用して、壁に取り付けることができます。

- 本製品を取り付ける壁の強度には十分注意してください。
- 壁掛けで使用するときは、スタンドを外してください。
- 本製品は横向きで設置してください。

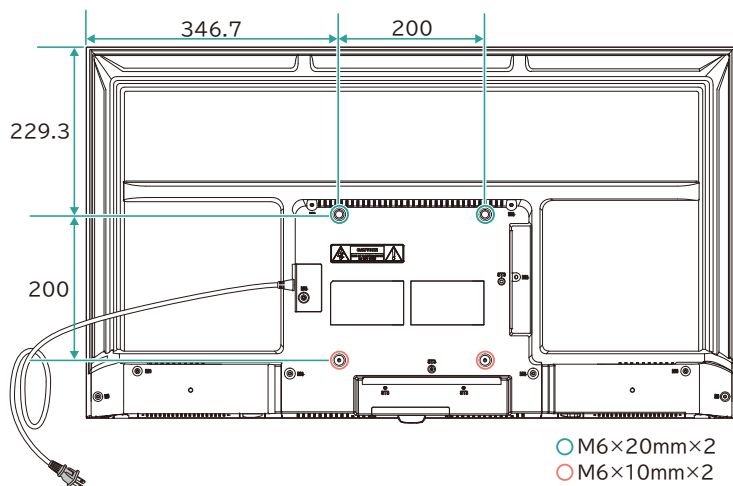
LT-24WGXF1



LT-32WGXF1



LT-40FGXF1





注意

- ・ 壁掛け金具の取り付けは、必ず専門の業者に依頼してください。
専門の業者以外が取り付けたり、壁への取り付けが不適切だったりした場合、テレビが落下して、大けがの原因になります。
- ・ 設置や安全上の注意については壁掛け金具の取扱説明書もご確認ください。万一壁掛け金具に付随する事故が発生した場合は当社はその責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・ 本体を傾けて設置したり、傾斜した壁面へ設置したりすると、落下してけがや床などが損傷する可能性があります。
垂直な面に、取付角度 0°で設置してください。
- ・ ねじ穴の寸法が合うものを使用してください。(→[仕様 P124](#))
ねじを強く締めすぎないでください。製品の内部を破損するおそれがあります。

関連ページ

- ・ [スタンドを取り付ける P35](#)

アンテナの接続について

！ お願い

- ・ アンテナを接続する前に、必ず本製品および接続している機器の電源を切り、電源プラグを抜いてください。
- ・ アンテナ工事には専門知識が必要です。アンテナの設置や調整については、お買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。
- ・ 一部のアンテナプラグは、形状によってはアンテナ端子への挿入が困難なものがあります。
- ・ 信号の受信レベルは、天候の影響などにより変動します。アンテナを設置するときは、アンテナレベルを確認し、アンテナの調整、ブースターの追加などを行ってください。
- ・ ケーブルテレビやインターネット配信などで地上デジタル放送を視聴するには、ケーブルテレビ会社やインターネット配信の会社の説明にしたがってください。
- ・ 既に設置してあるアンテナを使用する場合は、使用する場所やアンテナの設置状況によって、取り換えや調整、ブースターの設置などが必要になることがあります。
- ・ アンテナや、接続に必要なアンテナ線(同軸ケーブル)は付属していません。使用するアンテナの種類や使用環境条件に合わせて、適切なケーブルを使用してください。

関連ページ

- ・ [地上デジタル放送 P40](#)
- ・ [BS・110 度 CS デジタル放送 P41](#)
- ・ [レコーダーをつなぐとき P44](#)

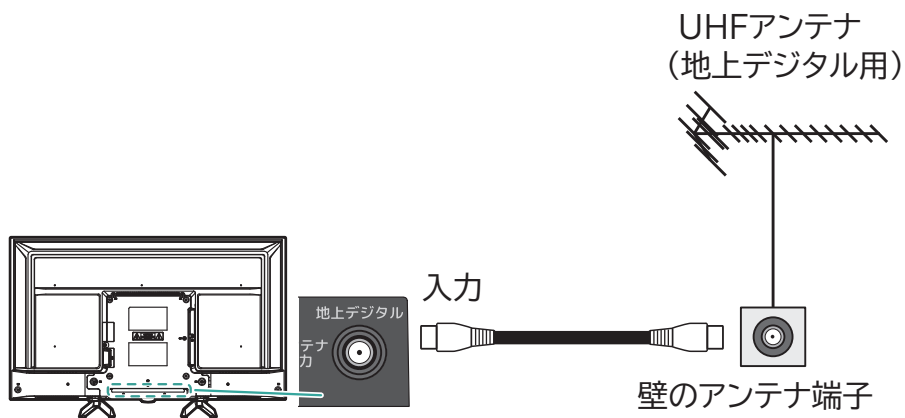
地上デジタル放送

地上デジタル放送を受信するには、地上デジタル放送対応型の UHF アンテナが必要です。

接続イラスト内のケーブルについて

: 市販のアンテナ線(同軸ケーブル)

: 市販のアンテナ線(BS・110 度 CS 対応同軸ケーブル)



関連ページ

- [アンテナの接続について P39](#)
- [BS・110 度 CS デジタル放送 P41](#)
- [レコーダーをつなぐとき P44](#)

BS・110 度 CS デジタル放送

—BS・110 度 CS デジタル放送

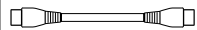
- ・ BS デジタル放送だけを受信する場合は「BS デジタル用アンテナ」を、110 度 CS デジタル放送だけを受信する場合は「110 度 CS デジタル用アンテナ」が必要です。
- ・ 両方のアンテナを使用する場合は、混合器を使用して 1 本のケーブルにまとめてから、テレビに接続してください。
- ・ 本製品と BS デジタル用アンテナ・110 度 CS デジタル用アンテナの接続には、BS・110 度 CS デジタル対応のケーブルを使用してください。
- ・ 110 度 CS デジタル放送を受信して、ブースターや BS・110 度 CS 用分波器を使用する場合は、110 度 CS デジタル放送(周波数 2,150MHz)に対応した機器を使用してください。対応していない機器を使用した場合は、110 度 CS デジタル放送を受信できません。
- ・ 受信信号レベルは天候の影響などにより変動します。レベルが足りない場合は、ブースターなどを使用してください。
- ・ BS・110 度 CS デジタル用アンテナには、必要に応じて、本製品のアンテナ端子から電源を供給できます。アンテナへ

の電源供給の設定については、リモコンの  →「すべての設定」→「チャンネルと入力」→「チャンネル」→「BS/CS アンテナ電源」で設定してください。

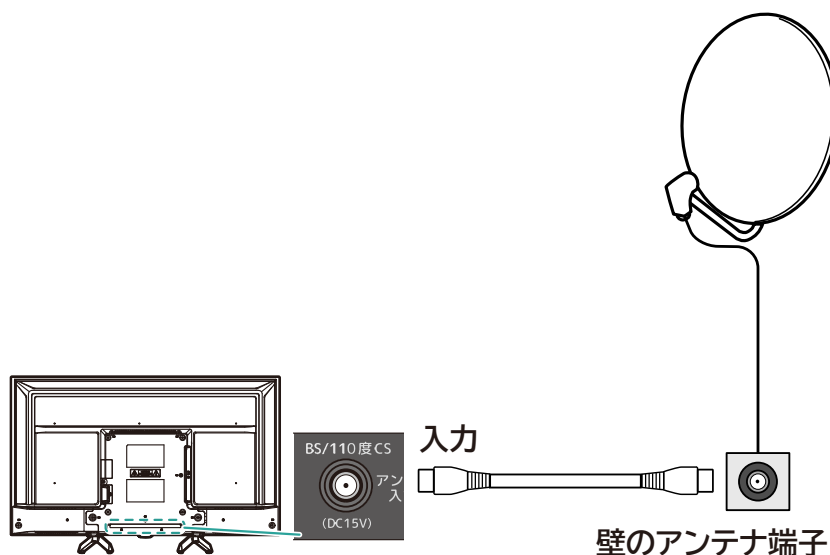
※ デフォルトはオフに設定されています。マンションなどで、他の機器からアンテナに電源が供給されているときは、オフに設定してください。

接続イラスト内のケーブルについて

: 市販のアンテナ線(同軸ケーブル)

: 市販のアンテナ線(BS・110 度 CS 対応同軸ケーブル)

BS・110度CS デジタル用アンテナ



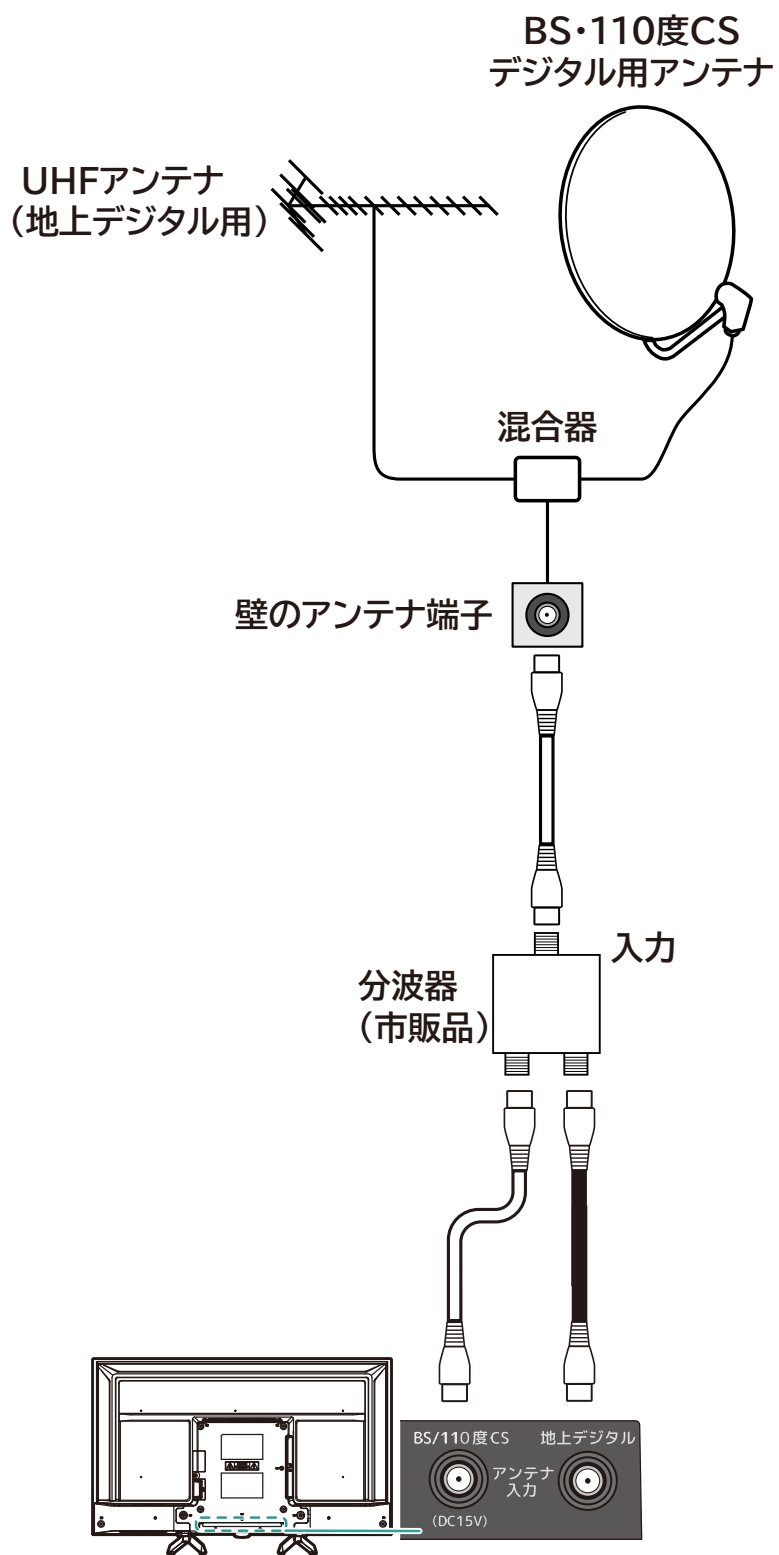
—地上デジタル用アンテナと BS・110 度 CS デジタル用アンテナが、1 本のケーブル(または 1 個の壁のアンテナ端子)にまとめてある場合

- 地上デジタル用アンテナと、BS・110 度 CS デジタル用アンテナが、混合器を使用して 1 本のケーブル(1 個の壁のアンテナ端子)にまとめてある場合は、分波器で 2 本のケーブルに分け、本製品の地上デジタル用アンテナ端子と BS・110 度 CS デジタル用アンテナ端子に接続してください。
- テレビからアンテナへ電流を供給する場合があるため、必ず全方向電流通過型の分波器を使用してください。
- 将来 110 度 CS デジタル放送でチャンネルが増えた場合、ご使用中のアンテナによっては、分波器が使用できないことがあります。
- BS・110 度 CS 機器を接続するときは、機器の取扱説明書をご覧ください。

接続イラスト内のケーブルについて

: 市販のアンテナ線(同軸ケーブル)

: 市販のアンテナ線(BS・110 度 CS 対応同軸ケーブル)



関連ページ

- [アンテナの接続について P39](#)
- [地上デジタル放送 P40](#)
- [レコーダーをつなぐとき P44](#)

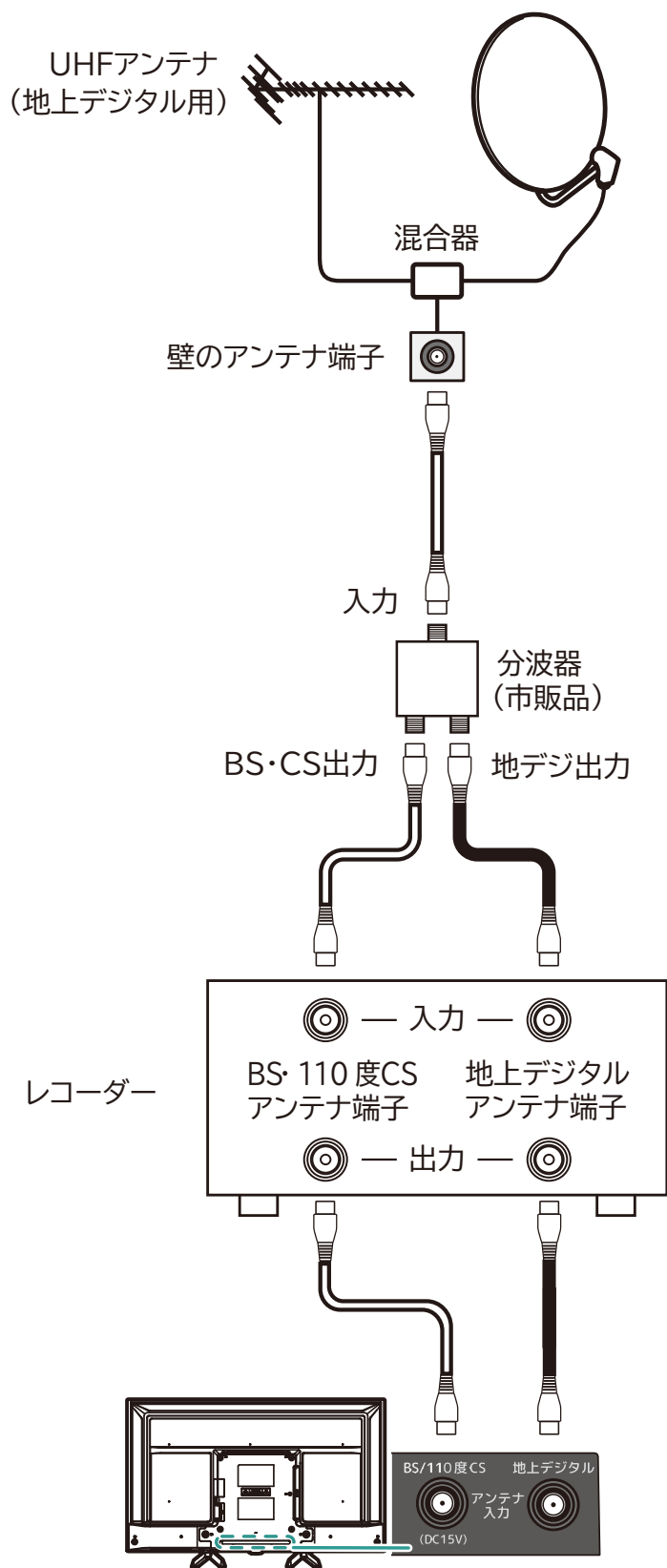
レコーダーをつなぐとき

- ・ テレビからアンテナへ電流を供給する場合があるため、必ず全方向電流通過型の分波器を使用してください。
- ・ BS・110 度 CS 機器を接続するときは、機器の取扱説明書をご覧ください。
- ・ 将来 110 度 CS デジタル放送でチャンネルが増えた場合、使用中のアンテナによっては、分波器が使用できないことがあります。

接続イラスト内のケーブルについて

: 市販のアンテナ線(同軸ケーブル)

: 市販のアンテナ線(BS・110 度 CS 対応同軸ケーブル)



関連ページ

- [アンテナの接続について P39](#)
- [地上デジタル放送 P40](#)
- [BS・110度CS デジタル放送 P41](#)

アンテナを調整する

信号レベルが不足している場合は、「信号レベル」画面を確認しながらアンテナの調整をします。

※ 高所での作業は危険です。アンテナの調整については、販売店にご相談ください。

1 放送波(地デジ・BS・CS)視聴画面で  を押し、テレビ設定画面から「機能設定」→「信号レベル」の順に選ぶ

2 信号レベル画面で、地上/BS/CS から信号レベルを確認したい放送波を選び、 を押す

受信帯域やチャンネルを選び、信号品質や信号強度を確認する

安定した視聴ができる信号レベルの目安

BER 0.0000

地デジの場合:信号品質、信号強度とも 40 以上

3 BS/CS の場合:信号品質、信号強度とも 70 以上

- 数値が低い場合は、アンテナの設置状態や配線を確認してください。
- 高所での作業は危険です。アンテナの調整については販売店にご相談ください。
- 信号の受信レベルは、天候の影響などにより変動します。天候が悪く受信状況が悪くなっている場合は、天候の回復をお待ちください。

準備

miniB-CAS カードを入れる

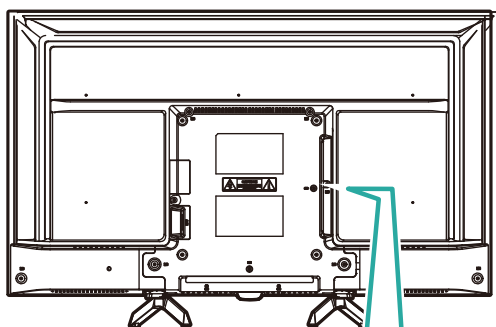
- ・ デジタル放送を視聴するには、B-CAS カードが必要です。本製品には miniB-CAS カードが付属しています。
- ・ miniB-CAS カードは、下図の向きで差し込んでください。

※ miniB-CAS カードの金色の端子部分が汚れると、デジタル放送を受信できなくなることがあります。

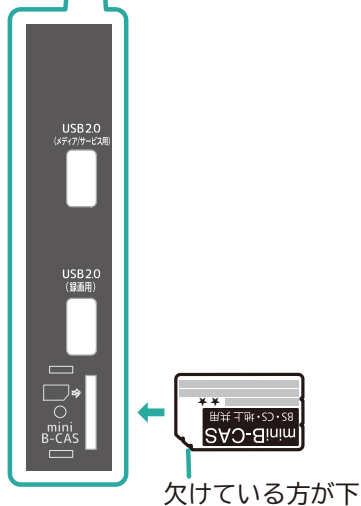
金色の端子部分に触れないでください。

- 1 miniB-CAS カードを角が欠けた方を下にして、miniB-CAS カード挿入口に差し込む

カチッと音がするまで押し込む



2



B-CAS カードのお問い合わせについて

- ・ B-CAS カードについては、下記にお問い合わせください。

B-CAS カスタマーセンター(10:00～20:00 年中無休)

電話:[0570-000-261](tel:0570-000-261) IP 電話からは:045-680-2868

電源の接続



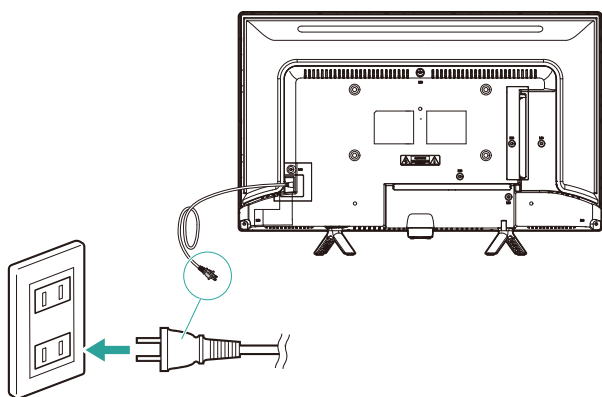
注意

- ・ 電源プラグは、すぐに抜くことができるように、手の届く位置のコンセントに接続してください。
- ・ 付属以外の電源コードを使用しないでください。
- ・ 付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。

— LT-24WGX-F1 / LT-40FGX-F1

電源プラグをコンセントに差し込む

1

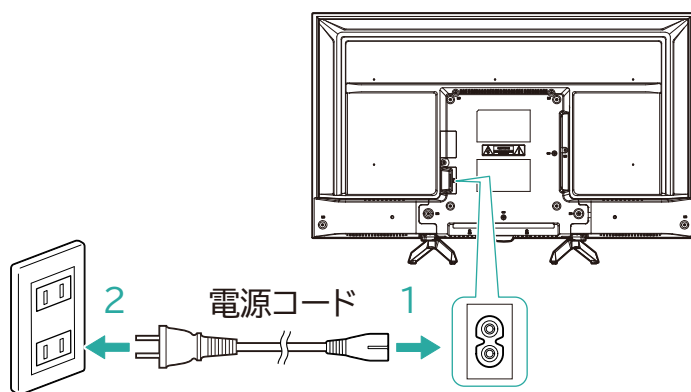


— LT-32WGX-F1

1 電源コードの本体差し込みプラグを本体背面の電源コード差込口に差し込む

電源プラグをコンセントに差し込む

2



リモコンの準備



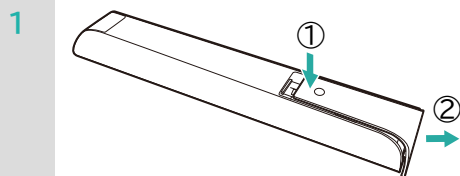
注意

- ・ 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使わないでください。電気が逆流して火災やけがの原因になります。
- ・ 乾電池の入れかたが正しくないと、火災の原因になります。
- ・ 充電・加熱・分解したり、ショートさせたりしないでください。
- ・ 絶対に火の中に入れてください。
- ・ 直射日光の当たる場所に置かないでください。

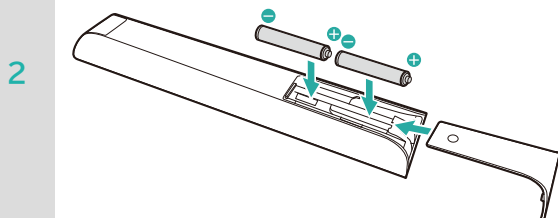
電池の入れかた

電池カバーを開ける

両手の親指で電池カバーを押さえつけ、取り出し方向にスライドさせます。



単 4 形乾電池を指定の向きに入れる(2 個)

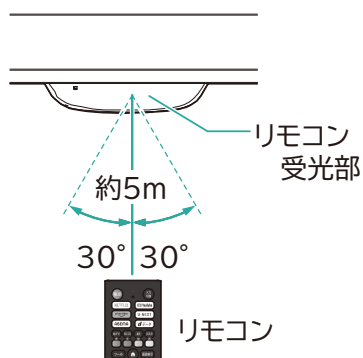


電池カバーを閉じる

—リモコンで操作できる範囲

リモコンの赤外線発光部を本体のリモコン受光部に向けて、直線：約 5 m 以内、左右 30°の範囲で操作できます。(赤外線動作時)

本体とのペアリング後は受光部の向きによらず、電波を遮る障害物がない、約 8m の範囲で操作できます。(Bluetooth 動作時)



ポイント

リモコン操作のコツ

- ・ リモコン受光部の正面から操作する。
- ・ リモコンと本体のリモコン受光部の間にものを置かない。

！お願い

- ・ 乾電池の廃棄は、自治体の条例またはお住まいの地域の規則にしたがってください。
- ・ 長期間リモコンを使用しない場合は、乾電池を取り外してください。

関連ページ

- ・ [リモコン P32](#)

はじめて電源を入れたときの設定

はじめて電源を入れると、IRIS OHYAMA のロゴのあとに Google TV のロゴが表示され、その後、初期設定画面が表示されます。

※起動から初期設定画面の表示まで数分かかります。

※画面構成、操作方法などは予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

画面の案内にしたがって Google 関連の初期設定を行う

〈言語の設定〉

言語を確認し、を押してください。



〈Google TV の設定〉

- Google TV の設定: スマートテレビ機能やネット動画を楽しめます。
- ベーシックテレビの設定: テレビ放送や外部機器の視聴が主な用途です。

以降は、Google TV の設定を選んだ場合を例として説明します。

で[Google TV の設定]を選び、を押す。



1 〈Google アカウントの設定方法の選択〉

リモコンまたはスマートフォンで設定ができます。

リモコンで設定する場合は、で[リモコンで設定を続ける]を選び、を押す。

※スマートフォンで設定する場合は、お使いのスマートフォンに Google Home アプリをインストールします。

本製品の画面に表示されている二次元コードを読み取り、スマートフォンに表示される手順にしたがって設定してください。お使いのスマートフォンが、本製品に接続する予定の Wi-Fi ネットワークと同じネットワークに接続されている必要があります。



〈ネットワークの設定〉

で接続したいネットワークを選び、パスワードを入力して接続する。

※LAN ケーブルを接続している場合は、「有線 LAN を使って接続」と表示されます。

そのまま有線で接続する場合は「次へ」を選びます。

Wi-Fi 接続に変更する場合は、「ネットワークを変更」を選び、接続したいネットワークを選んでパスワードを入力してください。



〈Google アカウントの登録〉

Google へログインしてください。

※ Google アカウントがない場合は、Google アカウントを取得してください。

ログイン後、[もっと見る]を選んで  を押すと、[同意する]が表示されます。

「利用規約」「Play 利用規約」「プライバシーポリシー」の各項目を選んで  を押すと、内容を確認することができます。

各項目の内容を確認後、[同意する]を選び、 を押す。



〈Google サービスの確認〉

画面表示にしたがってサービスの詳細を確認後、 で[同意する]を選び、 を押す。



〈複数アプリの検索結果をまとめて表示〉

 で[許可をする]または[許可をしない]を選び、 を押す。



〈サービスの選択〉

アプリが表示されるので、インストールしたいアプリを選び、 を押す。

 で[確認]を選び、 を押す。



〈ネットワークのプライバシーポリシー等の確認〉

文章は  でスクロールできます。

内容を確認後、 で[同意する]を選び、 を押す。

リモコンと本体のペアリングを行う

リモコンの LED ランプが点滅するまで  と  を同時に押し続ける。

リモコンの LED ランプが点滅したら、ボタンを離す。

※完了すると画面に✓が表示されます。

ポイント

ボタンを押すタイミングによっては、 が有効になってしまい前の画面に戻ってしまうことがあります。

 を少し先に押すイメージで操作していただくとスムーズです。

3

パスワードの入力を行う

画面にしたがってパスワードを入力してください。

4

テレビモードを選ぶ

画面にしたがって   で選び、 を押す。

通常は[ホーム]を選んでください。

※[販売店]:店頭デモ用。

5

省エネ設定を行う

画面にしたがって   で選び、 を押す。

チャンネルの設定を行う

画面にしたがって設定を行ってください。

※   でカーソル移動、  で数字を選ぶこともできます。

6

- ・ 郵便番号
- ・ 地域選択
- ・ 受信帯域(チャンネルスキャン範囲):通常は[UHF]を選んでください。

 を押すとスキャンを開始します。

スキャンが終わったら、[次へ]を選び、 を押す。

BS/CS アンテナ電源供給の設定を行う

7

テレビから電源を供給する場合は[オン]に、BS/CS アンテナを接続しない・別の機器からアンテナに電源を供給する場合は[オフ]に設定する。

※設置環境により、アッテネータ設定、アンテナ電源(LNB 電源)を設定する必要があります。

8

Google TV の設定を行う

手順 7 まで設定が終わると、Google TV の設定が始まります。

完了するまでお待ちください。

「Google TV の準備が終わりました」が表示されたら、[始めましょう]を選び、 を押す。

Google TV のホーム画面

Google TV にあるアプリやサブスクリプションを表示します。

※ネットワークの状態によっては、反応に遅延が生じたり中断されることがあります。

※アプリケーションの使用中に問題が生じた場合はアプリケーションの提供元へお問い合わせください。

※コンテンツプロバイダーの状況により、アプリケーションの更新またはアプリケーション自体の配布やサービスが終了することがあります。

※一部のアプリケーションが国の規制により、サービスを制限されたり、サポートされない場合があります。

※サービス提供者により、お申し込み内容の変更などが予告なしに行われる場合があります。

※詳しい情報はご利用のアプリケーションの提供元へご確認ください。

※ネット動画などのインターネットサービスをご利用になる場合はインターネット接続が必要になります。

ホーム画面の使用方法

1



を押す

Google TV のホーム画面が表示されます。

2

タブの各項目やアプリリスト内のアプリなどを選び、を押す

タブ

おすすめ	おすすめのコンテンツを表示します。
映画	各映画を表示します。
番組	各番組を表示します。
アプリ	アプリリスト内を表示します。
ライブラリ	テレビやスマートフォンなどで購入、レンタル、見たいもののリストに追加したコンテンツが表示されます。
検索	リモコンまたはテレビに表示されるキーボードを使用してキーワードを入力し、さまざまなコンテンツを検索することができます。

※音声検索の詳細については、「[音声でコンテンツを検索する P93](#)」を参照してください。

アプリリスト

1. インストール済みのアプリのリストが表示されます。
2.  でアプリを選び、 を押すと、放送や選んだコンテンツを視聴できます。
3. アプリを選び、 を長押しすると、アプリの並び順を変更したり、アプリの削除ができます。

※OS のバージョンにより画面が異なる場合があります。

3



を押す

前の画面または前の手順に戻ります。

設定はシステムの更新や、アプリケーションの更新等により、内容が異なる場合があります。

また、視聴中のコンテンツの内容や入力信号の状態等により、表示される内容および選択できる内容が異なる場合があります。

－アプリを追加する

1

ホーム画面から「アプリ」タブを選ぶ

下にスクロールするとおすすめアプリケーションや、検索バーが表示されます。

2

使用したいアプリを選び、画面の指示にしたがってインストールする

インストール済のアプリを選んだ場合、そのアプリが実行されます。

－アプリを削除する

1



を押し、画面から < > で「すべての設定」→「アプリ」→「アプリをすべて表示」をそれぞれ選び、 を押す

2

∧∨ ですべてのアプリから削除したいアプリを選び、 を押す

3

∧∨ で「アンインストール」を選び、 を押す

4

∧∨ で「OK」を選び、 を押す

「キャンセル」を選び、 を押すと、削除せずに前の画面に戻ります。

外部機器と接続する

説明は、下記のリンクをクリックしてください。

- [録画用ハードディスク P58](#)
- [ブルーレイレコーダーやパソコン\(HDMI/AV\) P63](#)
- [オーディオ機器\(ARC 対応 HDMI\) P64](#)
- [オーディオ機器\(光デジタル音声\) P65](#)
- [ヘッドホン P66](#)

録画用ハードディスク

市販の外付け USB ハードディスクを接続して登録すると、番組を録画・再生できます。

※ データ放送、外部入力(HDMI1 ～ 2、AV 入力)で視聴している映像・音声は録画できません。

— 外付け USB ハードディスクと接続する



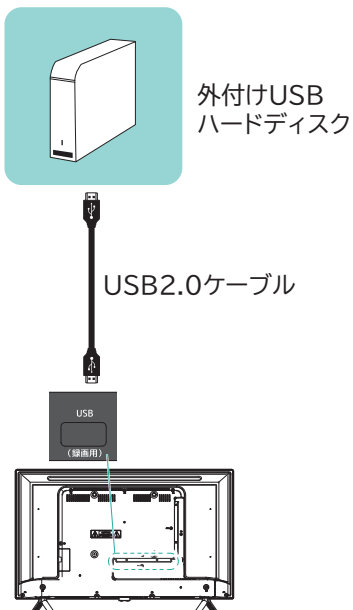
注意

- ・ 本製品以外で使用していた外付け USB ハードディスクを本製品に接続して登録すると、それまでに保存されていたデータはすべて消去されます。
また、本製品で使用していた外付け USB ハードディスクをパソコンなどで使用する際には初期化を行う必要があり、本製品で録画したデータはすべて消去されます。
- ・ 外付け USB ハードディスクの動作中は、ハードディスクの電源を切ったり、USB ケーブルを抜いたりしないでください。
保存した内容が消えたり、ハードディスクが故障したりする原因になります。

※ AC アダプターで動作するハードディスクは機器に付属の専用の AC アダプターを接続してご使用ください。

※ USB ハブは使用できません。

ケーブルを USB 端子(録画用)に接続します。



ー外付け USB ハードディスクを登録する

以下の手順で本製品に登録します。

本製品の USB 端子に USB ハードディスクを接続する

1

USB 端子はメディア再生用と録画用の 2 つあります。
録画用 USB ハードディスクは、録画用 USB 端子に接続してください。

テレビの電源を入れて、リモコンの   のどちらかを押して放送視聴画面にし、
USB-HDD 登録の画面が表示されたら画面の説明を読み、[上][下]で[はい]を選び、



を押す

2

登録が実行され、ハードディスク内のすべてのデータが削除されます。
(登録に数分かかる場合があります。)
[いいえ]を選ぶと登録がキャンセルされます。

USB-HDD 登録処理中に、画面に「○○(接続中の機器名)を取り出しています」などのメッセージが表示されることがありますが、「登録しました。」の画面になるまでそのままお待ちください。

3

登録完了後、画面に「登録しました」が表示されたら[終了]を選び、 を押す

放送波(地デジ・BS・CS)視聴中に USB ハードディスクを接続し、自動的に USB-HDD 登録画面が表示されない場合は、「USB-HDD 設定」からも登録を行うことができます。



を押し、[録画機能]→[USB-HDD 設定]を選び、 を押す。

[未登録]と表示されている機器を選び、 を押す。

[登録]を選び、 を押すと、USB-HDD 登録画面になります。

接続する機器によっては、以下の手順でフォーマットが必要になることがあります。

「USB-HDD 登録」画面で「本 USB-HDD はフォーマットの原因で認識されませんでした。」と表示された場合は、[ストレージ設定へ]を押してください。

1

画面にしたがって登録をしてください。

[リムーバブルストレージとしてセットアップ]を選び、を押す

2

[フォーマット]を選び、を押す

3

USB-HDD 登録の画面が表示されたら[はい]を選び、を押す

4

初期化と登録が開始されるので、登録されたら[終了]を選び、を押す

フォーマット完了です。

- ・ デバイスストレージとしてセットアップした場合、録画用に使用できません。

リモコンの  → [すべての設定] → [システム] → [ストレージ] から [データを削除してリムーバブルストレージとしてフォーマット] を選び、再度セットアップしてください。

ー外付け USB ハードディスクの設定をする

1 放送波(地デジ・BS・CS)視聴中  を押し、[録画機能]→[USB-HDD 設定]を選び、 を押す

2 対象の USB ハードディスクを選び、 を押す

3 項目を選び、 を押す

USB-HDD 情報の確認、初期化、登録解除、取り外しができます。

ー外付け USB ハードディスクの取り外し

1 放送波(地デジ・BS・CS)視聴中に  を押し、[録画機能]→[USB-HDD 設定]を選び、 を押す

2 対象の USB ハードディスクを選び、 を押す

3 [取り外し]を選び、 を押す

4 「安全に取り外しました。」と表示されたら、[終了]を選び、 を押す



- ・「安全に取り外しました。」が表示される前に取り外さないでください。
保存した内容が消えたり、ハードディスクが故障したりする原因になります。
- ・録画中はハードディスクの取り外しはできません。
- ・USB-HDD 設定の[取り外し]を行ったあとに再度同じハードディスクを接続したい場合は、一度 USB 端子からハードディスクのケーブルを外し、再度接続してください。

ー外付け USB ハードディスクの登録解除

1 放送波(地デジ・BS・CS)視聴中に  を押し、[録画機能]→[USB-HDD 設定]を選び、 を押す

2 対象の USB ハードディスクを選び、 を押す

3 [登録解除]を選び、  で[はい]または[いいえ]を選び、 を押す
[はい]を選ぶと登録解除処理が始まります。

4 「登録解除しました。」が表示されたら[終了]を選び、 を押す

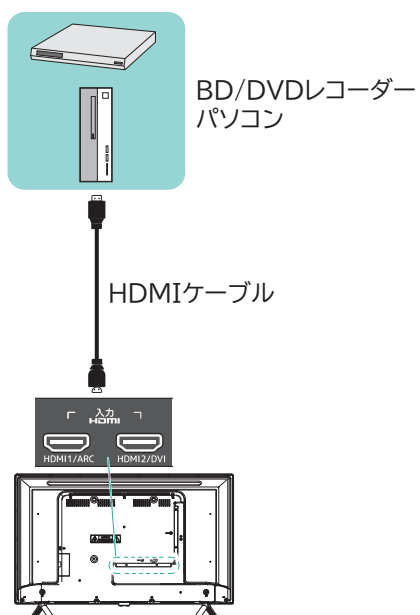
ご注意ください

- 登録を解除すると、録画されている番組は削除されます。
同じ USB-HDD を再度登録しても、削除された番組は視聴できません。

ブルーレイレコーダーやパソコン(HDMI/AV)

デジタル信号のまま映像と音声を入力できます。HDMI 出力端子のある機器と、HDMI ケーブルで接続してください。

接続する機器の取扱説明書を確認の上、接続してください。

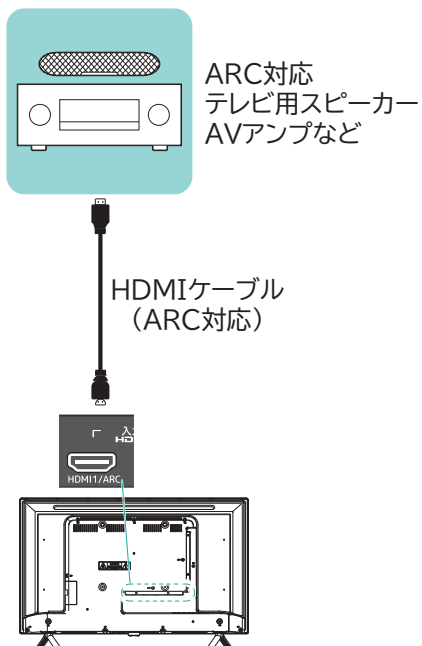


ポイント

- AC アダプターで動作する機器は、必ず機器に付属の AC アダプターを使用してください。

オーディオ機器(ARC 対応 HDMI)

ARC 対応の HDMI 端子を備えたテレビ用スピーカーや AV アンプなどに音声を出力する場合は、本製品の HDMI1 (ARC 対応) 入力端子と、外部機器の ARC 対応 HDMI 端子を、ARC 対応の HDMI ケーブルで接続してください。



機器を接続した後に本製品で以下の設定を行ってください。

リモコンの  を押す→[すべての設定]→[チャンネルと入力]→[入力] →[HDMI 制御][オン]>続行しますか？[OK]

HDMI制御

HDMIデバイスの制御をテレビに許可します

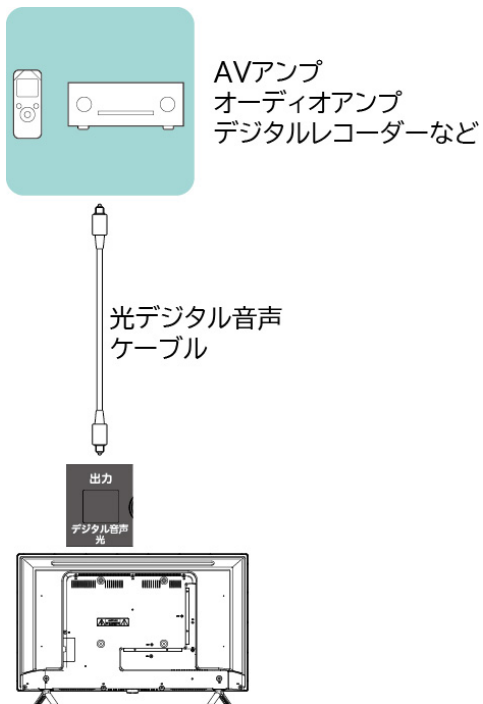


ポイント

- 接続した機器の音量は、テレビのリモコンで操作できるようになります。
- 接続した機器によっては対応していない場合があります。

オーディオ機器(光デジタル音声)

外部機器の光デジタル音声入力端子と本製品の光デジタル音声出力端子を、光デジタル音声ケーブルで接続してください。



ポイント

- ・ 再生する音量は接続した機器で調節してください。
- ・ 番組によっては、デジタル音声が出力できない場合があります。
- ・ サウンドスピーカーを光ケーブルで接続した場合、テレビ本体とサウンドスピーカー両方から音声を出力します。
- ・ サウンドスピーカーからのみ音声を出力させたい場合は、テレビ本体の音量を 0 にしてください。

ヘッドホン

ヘッドホンのプラグ(3.5mm ステレオミニプラグ)を、背面のヘッドホン端子に接続します。

※ ヘッドホン端子は 4 極のプラグには対応していません。



- ・ ヘッドホンの音量を上げすぎないでください。
聴力障害の原因になります。

ポイント

- ・ ヘッドホンを接続すると、テレビ本体のスピーカーからは音声は出ません。

ネットワークに接続する

テレビをインターネットに接続するためには、あらかじめインターネットを使用できる環境が必要です。

インターネット接続環境について詳しくは、ご利用の通信事業者やプロバイダーにお問い合わせください。

ネットワークに接続すると、データ放送の双方向サービスを楽しむことができます。

データ放送の双方向サービスでは、クイズ番組に参加したり、ショッピング番組で買い物をしたりすることができます。

※本製品は電話回線を利用した双方向サービスには対応していません。

説明は、下記のリンクをクリックしてください。

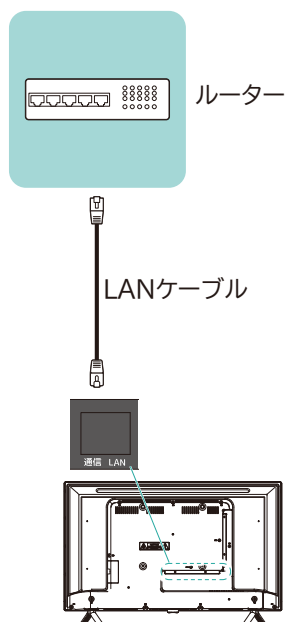
→[接続のしかた P67](#)

接続のしかた

— LAN ケーブルで接続する

本製品背面の LAN 端子と、ネットワークにつながったルーターなどの LAN ポートを、LAN ケーブルで接続します。

※ 購入時の設定でインターネットが利用できない場合や、ネットワーク設定をやり直す際に、必要に応じて設定を行ってください。



 を押し、[すべての設定]→[ネットワークとインターネット]を選び下記の項目を設定する

イーサネット

LAN ケーブルで接続されているときは、「接続済み」と表示されます。

プロキシ設定

インターネットとの接続時にプロキシ(代理)サーバーを経由する場合に設定します。

- ・ ご契約のプロバイダーから指定がある場合にだけ設定してください。

- ・ここでのプロキシ設定は HTTP に関するものです。

IP 設定

インターネットに接続するために本製品に割り当てられる、固有の番号を設定します。

- ・ DHCP 自動でアドレスを割り当てます。
- ・ 静的 手動で IP アドレスを設定する場合に選択し、設定します。

無線 LAN(Wi-Fi)で接続する

本製品背面の LAN 端子と、ネットワークにつながったルーターなどの LAN ポートを、LAN ケーブルで接続します。

※ 無線 LAN ルーターの SSID と暗号キーを控えておいてください。

1 無線 LAN ルーター(別売)を準備する

2 リモコンの  を押して、設定を表示するか、ホーム画面右上の  を選ぶ

3 [ネットワークとインターネット]→[Wi-Fi]で Wi-Fi をオンにして、使用する Wi-Fi [Wi-Fi]を選ぶ

4 暗号キーを入力して接続する

テレビを見る

電源を入れる

説明は、下記のリンクをクリックしてください。

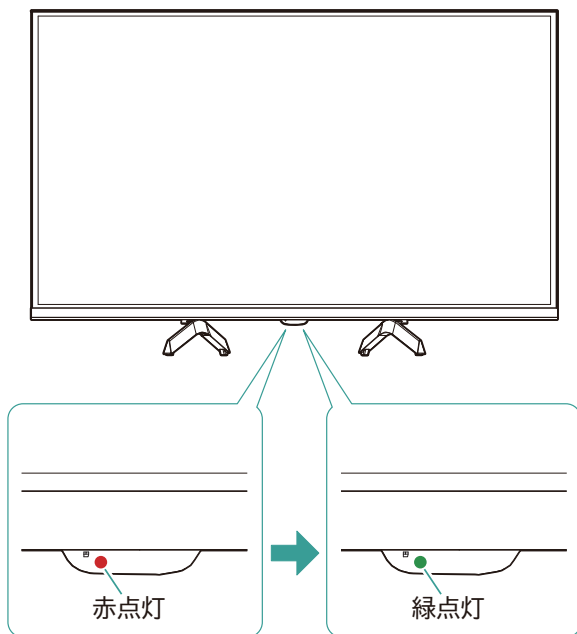
→ [電源を入れる P69](#)

→ [電源をスタンバイモードにする P70](#)

電源を入れる

リモコンの  を押すか、本体底面の電源ボタンを押す

電源が「入」になり、電源ランプが「緑」に点灯します。

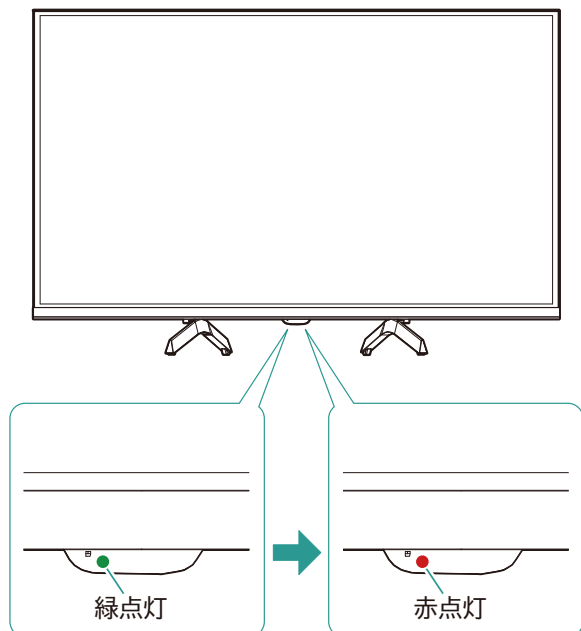


電源をスタンバイモードにする／切る

電源が「入」のときにリモコンの  を押す。または、本体底面の電源ボタンを押す。

電源がスタンバイモード(リモコン操作待ち受け状態)になり、電源ランプが「赤」に点灯します。

リモコンや本体のボタンを押すと、画面はすぐに消灯しますが、ランプは約 5 秒後に「緑」から「赤」に変化します。



テレビを見る

1 テレビを見る

地デジ **BS/CS** で放送波を選ぶ

または、入力切換を押して、メニュー[ソース]を選び、**△****▽** で[地デジ][BS][CS]か

ら視聴する放送波を選び、**決定** を押す

※ 本製品は 4K 放送に対応していないため 4K ボタンはお使いになれません



地デジ:地上デジタル放送を視聴します。

BS/CS:BS デジタル放送/110 度 CS デジタル放送を視聴します。

視聴するチャンネルを選ぶ

- ・ リモコンの **1** ～ **12** ボタンで、チャンネルを選ぶことができます。
- ・ 数字ボタンには、初期スキャンでチャンネルが割り当てられています。
- ・ 設定していないチャンネルを選ぶことはできません。

初期スキャンをしていない場合は、リモコンの  →「すべての設定」→「[チャンネルと入力 P102](#)」→「チャンネル」から、「郵便番号設定」、「地域」、「地上スキャン」で必要な設定を行ってください。

リモコンの数字ボタンで選ぶ

- ・ **1** ～ **12** で設定されたチャンネルを選ぶことができます。

チャンネルボタンで選ぶ



- ・ で設定されたチャンネルが順番に切り換わります。

3桁のチャンネル番号で選ぶ

-  を押して、チャンネル番号を入力します。

チャンネル番号は  で確認できます。
※番組表画面では3桁入力できません。

— 音量を調節する

リモコンの  を押す

番組表を使う

番組表は、放送電波で送られてくる番組情報を基にして表示されます。

- ・ お買い上げ直後や電源を入れた直後、放送の種類を変えたときなどには、番組内容の表示に時間がかかることがあります。
- ・ 番組表を最新にしておくために、本製品の電源を毎日 2 時間以上「切」または「スタンバイモード」にすることをおすすめします。

— 番組表を使って操作する

番組を視聴中に  を押す

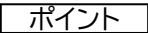
視聴中の放送波の番組表が表示されます。

放送波を変更する場合は、  を押してください

- 1
 - ・ 番組表は視聴当日から 8 日間分表示されます。
 - ・ 再び 、または  を押すと元の画面表示に戻ります。
 - ・ 番組情報は表示されるまでに時間がかかる場合や情報が取得できないことがあります。
 - ・  (前日) は、現在時刻より前には移動できません。

    で番組を選び、 を押す

- 2 番組詳細の画面が表示されます。



番組表の切り換えなどは、画面下部に表示される操作案内を参照してください。

— 視聴予約の設定

- 1 番組を視聴中に  を押す

- 2     で番組を選び、 を押し、番組詳細の画面を表示させる

「繰り返し設定」「番組追従」の設定をする

- 3  で移動し、 を押すとプルダウンで選択肢が表示されます。

- ・ 繰り返し設定：今回のみ、毎日、毎週、月～木、月～金、月～土

- ・番組追従:する、しない

再び  を押して設定を確定させる。

△▽◀▶ で[視聴予約]を選び、 を押す

予約完了画面が表示されます。

予約した番組には青い時計マークが付きます。

4

※番組情報が受信されていない場合は利用できません。しばらくお待ちいただいてから、やり直してください。

ポイント

予約番組の時刻に停電したり、電源プラグが抜かれていたりすると予約が実行されません。

電源を入れるか、スタンバイ状態にしてください。

— 視聴予約の変更

1

予約している番組を選び、 を押す

「繰り返し設定」「番組追従」の設定を変更する

2

△で移動し、 を押すとプルダウンで選択肢が表示されます。

- ・繰り返し設定: 今回のみ、毎日、毎週、月～木、月～金、月～土
- ・番組追従: する、しない

再び  を押して設定を確定させる。

3

「変更して予約」を選び、 を押す

[この番組を視聴予約しました]と表示され、変更が完了します。

— 視聴予約の取り消し

1

予約している番組を選び、 を押す

2 [予約取消]を選び、を押す

[選択した予約を削除しますか]と表示されたら、[確認]を選ぶ

3 番組表の予約した番組の青い時計マークが消えます。

※予約の取り消しをやめるときは、[キャンセル]を選んでください。

— 番組表の設定

1 番組表の表示中に  を押す

設定したい項目を選び、を押す

- 2
- 番組データ取得
 - サブチャンネル表示(オン/オフ)
 - 表示時間数切換(4時間/6時間/8時間)
 - 表示サイズ切替(小/中/大)
 - ジャンルカラー設定(ニュース/報道/スポーツ/情報ワイドショー/ドラマ/音楽/バラエティ/映画/アニメ/特撮/ドキュメンタリー/教養/劇場/公演/趣味/教育/福祉/追加/拡張/その他(未定義)/初期に戻る)
 - 背景カラー設定(ブラック/ホワイト)
 - 番組検索(ジャンル(サブジャンル)/放送(地デジ/BS/CS)/放送サービス(すべて)/検索)

データ放送を見る

データ放送とは

- ・ BS デジタル放送や地上デジタル放送では、映像や音声による通常のテレビ放送以外に、データ放送があります。
- ・ データ放送は「ニュース」や「天気」のように最新情報をタイムリーに提供するサービスと、放送中の番組に関連した情報をその時間帯のみ提供する番組連動型サービスがあります。

連動データ放送を楽しむ

一部の番組には番組連動データ放送があります。双方向サービスが行われている番組連動データ放送では、番組に参加して楽しむことができます。

テレビ放送チャンネルで、天気予報やニュース、番組案内などのデータ放送を提供している場合があります。

d データ を押す

- 1
 - ・ 番組によっては押す必要がない場合があります。
 - ・ 画面に表示される操作指示にしたがって操作してください。

2 データ放送を終了するには、**d データ** を押す

- ・ 放送画面の操作説明などで、**d データ** は「d ボタン」、「データボタン」、「データ放送ボタン」などと表示される場合があります。
- ・ データ放送は録画できません。

デジタル放送の双方向サービス

インターネット回線を利用し、視聴者側が番組にクイズの解答を送信したり、リクエストをしたりできます。

地上デジタル放送の双方向サービスには、放送番組に連動した通信サービスと、放送番組とは無関係な通信サービスがあります。

- ・ デジタル放送の双方向サービスを利用するには、本製品背面の LAN 端子にネットワークケーブルを接続して、「ネットワークとインターネット」でインターネットへの接続を設定する必要があります。(→[ネットワークに接続する P67](#))
- ・ データ放送の取得中は、一部の操作ができないことがあります

外部入力画面に切り替える

製品の外部入力端子(HDMI 入力1~2、AV 入力)に接続したビデオや DVD・ブルーレイプレーヤー/レコーダーなどの再生番組を見たり、ゲーム機を接続して楽しんだりする場合は、以下の操作をします。

1 使用する機器の電源を入れる

2



を押す

-  を押すと現在の入力を選択された状態で画面左側に入力一覧画面が表示されます。

3



を繰り返し押す、または **▲▼** を押して入力を選ぶ

-  を押すたびに入力が切り換わります。
- **▲▼** では順方向・逆方向を選ぶことができます。

4

選んだ機器を操作する

- 機器のリモコンで再生などの操作をしてください。

テレビ番組を録画する

録画機能について

本製品に接続した外付け USB ハードディスクに録画できるのは、地上デジタル放送番組と、BS / 110 度 CS デジタル放送番組です。外部入力からの映像、音声については録画できません。

- ・ 録画できるのは本製品で受信した放送番組です。データ放送の内容は録画できません。

ー 外付け USB ハードディスクの接続・設定と録画前の準備

接続・設定

- ・ 本製品に外付け USB ハードディスクを接続しておきます。(→[録画用ハードディスク P58](#))

録画前の準備

- ・ 外付け USB ハードディスクの残量(録画可能時間の目安)を確認します。
- ・ 残量不足や番組数超過(3000 件を超過)になりそうな場合は、不要な番組を削除しておきます。(→[録画した番組を削除する P89](#))

- ・ 本製品に登録していない外付け USB ハードディスクでは録画できません。(→[録画用ハードディスク P58](#))
- ・ 録画や録画予約の操作をしたときに接続した機器が選択できない場合は、「[録画用ハードディスク P58](#)」を参照し、接続・設定を確認してください。
- ・ 2 台同時に外付け USB ハードディスクに録画することはできません。
- ・ 本製品で動作確認済みの外付け USB ハードディスクについては、「[動作確認済み外付け USB ハードディスクについて P128](#)」をご覧ください。

ー 録画可能時間の目安

録画可能時間は表示される時間よりも少なくなることがあります。

- ・ 外付け USB ハードディスクの残量時間表示は、BS デジタル放送の HD 放送(24Mbps)を基準に算出しています。録画可能時間表示はあくまでも目安として確認してください。

- ・ 外付け USB ハードディスクの最大予約件数は 128 件です。また、最大総番組数は 3000 件です。
- ・ 録画中に、本製品や外付け USB ハードディスクの電源プラグを抜いたり(停電なども含む)、USB ケーブルを抜き差ししたりすると、本製品や外付け USB ハードディスクの故障の原因になります。外付け USB ハードディスクの認識不良、録画番組が消去されるなど、本製品の動作が不安定になる場合があります。
- ・ 録画中に停電したり、電源プラグを抜いたりすると、途中まで録画した番組は残りません。

－お知らせの表示

録画予約・視聴予約の開始 30 秒前、録画が完了すると画面下に、お知らせと項目の選択を表示します。

録画予約・視聴予約

- ・ 削除: 予約を削除します。
- ・ 確認: お知らせの表示を消します。

録画が完了

- ・ 録画リスト: 録画リストに移動します。
- ・ 確認: お知らせの表示を消します。

放送波(地デジ・BS・CS)視聴中に  を押すと、録画機能についての確認や設定ができます。

- ・ 録画リスト…録画リストの表示
- ・ 予約リスト…録画予約、視聴予約のリストの表示
- ・ USB-HDD 設定…HDD の状態や容量を表示
- ・ オートチャプター設定…オートチャプターの設定(→[オートチャプター機能 P90](#))

録画リスト

録画した番組の視聴と削除が行えます。

リモコンの  を押す、もしくは  を押して、「録画機能」→「録画リスト」を選ぶことで表示できます。

- 録画した番組は種類ごとに分けられています。
(すべて/未視聴/視聴済み/バラエティ/ドラマ/ニュース/ワイドショー/音楽/スポーツ/ドキュメンタリー/劇場/映画/アニメ/教育/福祉/その他)
- 録画した番組の視聴のしかた(→[録画した番組を見る P87](#))
- 録画した番組の削除のしかた(→[録画した番組を削除する P89](#))

予約リスト

録画予約・視聴予約中の番組の確認、変更、取り消し、および過去に予約した番組の実行結果の確認ができます。

— すべて

録画予約・視聴予約の確認、変更、取り消しが行えます。

— 録画予約

録画予約の確認、変更、取り消しが行えます。

- ・ 録画実行中の番組は確認のみを行えます。

— 視聴予約

視聴予約の確認、変更、取り消しが行えます。

— 実行結果

今まで実行した録画予約・視聴予約の結果を  で確認できます。

- ・ 結果の詳細を確認できるのは「取消」と「失敗」のみです。

番組表から録画予約する

1  を押す

2  で録画したい番組を選び、 を押す

録画条件を指定し、「録画予約」を選び、 を押す

- 3
- ・ 視聴予約中の番組を録画予約することはできません。
 - ・ 繰り返し設定: 今回のみ、毎日、毎週、月～木、月～金、月～土
 - ・ 番組追従: する、しない
 - ・ 録画保存先には、接続されている USB-HDD 名が表示されます。

4 「この番組を録画予約しました。」が表示されます

- ・ 番組表に録画予約済みの  が表示されます。

- ・ 番組の変更があった場合、予約どおりに動作しないことがあります。
- ・ 複数の番組が連続して予約されている場合、各番組の最後の部分(約 5 秒)が録画されません。
- ・ 同時に 1 番組しか録画できません。
- ・ 「番組追従」を「する」に設定すると、予約した番組の最後まで、自動で録画時間を延長し録画されます。
- ・ 録画開始後に録画を中止する場合、放送波(地デジ・BS・CS)視聴画面で  を押して画面指示にしたがって操作してください。

一日時を指定して予約する

1 放送波(地デジ・BS・CS)視聴中に  を押す

2  で「録画機能」→「予約リスト」を選び、 を押す

3 リモコンの  を押す

日時、繰り返し設定、動画保存先を設定して、「録画予約」を選ぶ

- ・ 日/(開始)時/(開始)分/(終了)時/(終了)分/放送波/チャンネル
- ・ 繰り返し設定:今回のみ、毎日、毎週、月～木、月～金、月～土
- ・ 予約を削除する場合は、リモコンの  を押して削除します。
- ・ 視聴予約をする場合は、「視聴予約」を選んで  を押してください。

予約の確認・変更・取り消し

1 放送波(地デジ・BS・CS)視聴中に  を押す

2   で「録画機能」を選び、 を押す

3   で「予約リスト」を選び、 を押す

- ・ 予約リストが表示されます。

4 確認したい番組を   で選び、 を押す

- ・ 録画予約の内容が表示されます。

予約を変更する場合は、変更する項目を選んで設定し、「変更して予約」を選び、 を押す

- ・  で移動し、 を押すとプルダウンで選択肢が表示されます。
 - ・ 繰り返し設定: 今回のみ、毎日、毎週、月～木、月～金、月～土
 - ・ 番組追従: する、しない

5 ・ 「この番組を録画予約しました。」というメッセージが表示され、予約が変更されます。

予約を取り消す場合は、「予約取消」を選び、 を押す

- ・ 「選択した予約を削除しますか？」というメッセージが表示されます。

「確認」を選び、 を押すと「予約を取り消しました。」というメッセージが表示され、予約が取り消されます。

- ・ 番組の変更があった場合、予約どおりに動作しないことがあります。
- ・ 複数の番組が連続して予約されている場合、各番組の最後の部分(約 5 秒)が録画されません。
- ・ 同時に 1 番組しか録画できません。
- ・ 「番組追従」を「する」に設定すると、予約した番組の最後まで、自動で録画時間を延長し録画されます。
- ・ 録画開始後に録画を中止する場合、放送波(地デジ・BS・CS)視聴画面で  を押して画面指示にしたがって操作してください。

見ている番組を録画する

現在視聴中のデジタル放送番組を録画します。

を押す

- ・ 見ている番組の録画が始まります。

※ 録画されていることを確認するには、を押して、（録画中のマーク）がついていることを確認してください。

番組表から録画することもできます。

リモコンの  を押し、視聴中の番組詳細画面で「録画する」を選び、 を押すと録画が始まります。

録画を中止する

録画を途中で停止するには、次のようにしてください。

1

放送波(地デジ・BS・CS)視聴画面で  を押す

- ・ 録画の中止を確認するメッセージが表示されます。

録画を停止したいチャンネルを選び、 を押す。

2

「録画を中止しますか？」のメッセージが表示されたら、  で「中止」を選び、 を押す

- ・ 「録画が完了しました」というメッセージが表示され、録画が停止します。

録画した番組を見る

外付け USB ハードディスクへの録画が終了した番組を視聴するには、次のようにします。

録画中の番組を再生する機能(追っかけ再生)には対応していません。

1

 を押す

2

△▽◀▶ で見たい番組を選び、 を押す

- ・ 選んだ番組の再生が始まります。
- ・ 前回、再生を途中で停止した番組を選んだ場合は、「停止した位置から再開」または「最初から」を選ぶことができます。
- ・ 番組を最後まで再生し終わると、録画リストに戻ります。

ボタン	内容
	一時停止や早送り／早戻しから通常再生に戻ります。 テレビ番組の視聴中に押すと、録画リストを表示します。
	再生中に押すと一時停止します。  を押すと再生が再開されます。
	再生を停止し、録画リストに戻ります。
	早送り再生をします。(押すたびに速さが変わります。) (×2、×4、×8、×16、×32)
	早戻し再生をします。(押すたびに速さが変わります。) (×2、×4、×8、×16、×32)
	前のチャプターまでスキップします。
	次のチャプターまでスキップします。
	再生中に 30 秒進みます。
	再生中に 10 秒戻ります。

※決定ボタンでも一時停止や再生ができ、◀で早戻し、▶で早送りができます。
※番組によっては、一時停止やスキップなどの操作で、映像や音声为正しく再生されない場合があります。

3

再生を終了するには 、または を押す

- ・ USB ハードディスクの認識には時間がかかることがあり、録画リストがすぐに開かない場合があります。

- 本製品で録画した番組は本機でのみ再生できます。
- USB ハードディスクで録画した番組を再生中に、本機や USB ハードディスクの電源を切ったり、USB ケーブルを抜き差しをしたりすると、本製品や USB ハードディスクの故障の原因になります。
- 本製品の故障や故障による修理、受信障害などによって、録画・録音、録画データの再生ができなくなった場合の補償は一切できませんので、あらかじめご了承ください。

録画した番組を削除する

1 リモコンの  を押す(録画リストが表示)

削除したい番組を選び、 を押す

2 「選択した番組を削除しますか？」というメッセージが表示されます。

[確認]を選び、 を押すと、番組が削除されます。

削除をしない場合は[キャンセル]を選び、 を押してください。

オートチャプター機能

番組録画時に自動でチャプターマークを付けることができます。

本製品では、10 分・15 分・30 分ごとに分割する(チャプターマークをつける)ことができ、、 を押すとチャプターマークをつけたところへスキップできるようになります。

デフォルト設定は「10 分」です。

1

放送波(地デジ・BS・CS)視聴中に  を押して、「録画機能」→「オートチャプター設定」を選ぶ

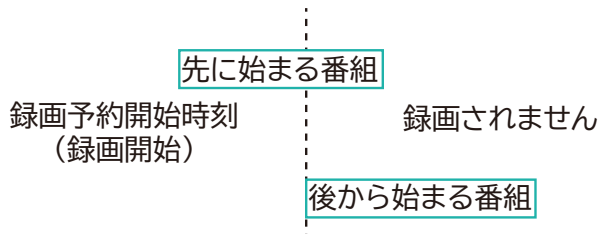
2

時間間隔を選び、 を押す

予約・録画の優先順位について

- ・ 録画予約と他の録画などが重なった場合、録画予約が優先され、他の録画は正しく保存されません。
- ・ 録画予約が重なる場合は、後から始まる番組の録画予約は実行されません。

録画予約開始時刻が早い番組を優先



- ・ 先に始まる番組の終了時刻と後から始まる番組の開始時刻が同じ場合は、先に始まる番組の終わり約 5 秒は録画されません。

その他の機能

タイマー

タイマー設定をすることで、設定した時刻に電源を入れたり、切ったりすることができます。

1



を押し、[すべての設定]→[システム]→[電源と省エネ設定]→[タイマー]を選び、を押す

設定をする

【電源 ON のスケジュール】

OFF:自動で電源を入れません。

ON:毎日、設定された時刻に自動で電源を入れます。

1 回:設定された時刻に 1 回だけ自動で電源を入れます。

【自動的に電源を ON にする時刻】

「電源 ON のスケジュール」が ON または 1 回に設定されているときに時刻の設定ができます。

△▽◀▶ で時刻を選び、を押すと設定されます。

2

【電源を OFF にする時刻の種類】

OFF:自動で電源を切りません。

ON:毎日、設定された時刻に自動で電源を切ります。

1 回:設定された時刻に 1 回だけ自動で電源を切ります。

【自動的に電源を OFF にする時刻】

「電源を OFF にする時刻の種類」が ON または 1 回に設定されているときに時刻の設定ができます。

△▽◀▶ で時刻を選び、を押すと設定されます。

音声でコンテンツを検索する

リモコンに搭載されているマイクを使って、目的のコンテンツ検索やテレビの操作ができます。音声操作をする前にテレビをインターネットに接続してください。(→[ネットワークに接続する P67](#))

テレビとリモコンが Bluetooth で接続されている必要があります。(→[Bluetooth 接続する P94](#))

※ 画面上のマイクボタンを選んでも音声操作できます。

※ 画面下部に、発声した音声ワードが表示されます。

※ Google アシスタントによるテレビの音声操作をする場合には、Google アカウントへのログインが必要です。

1



を押す

2



を押しながらリモコン上部にあるマイクに向かって、検索ワードを発声する



ランプ

マイク

Bluetooth 接続をする

- ・ 本製品は Bluetooth 機器を接続して使用できます。
- ・ テレビ録画用 USB ハードディスクの接続については「[外部機器と接続する 録画用ハードディスク P58](#)」を参照してください。



- ・ 対応機器の案内および接続互換性については保証対象外となります。自己責任のもとご利用ください。
- ・ 本製品および Bluetooth 機器のアップデートにより、繋がらなくなることがあります。

Bluetooth 機器を接続する

- 1 リモコンの  を押し、[Bluetooth]を選び、 を押す
- 2 接続したい Bluetooth 機器をペアリング待機状態にする
ペアリング待機にする方法は各 Bluetooth 機器の取扱説明書を参照してください。
- 3 「アクセサリのペア設定」を選び、 を押す
ペアリング待機中の機器の一覧が表示されます。
- 4 画面に表示された機器から、接続したい機器を選び、ペアリングする
ペアリング中に 4 桁の PIN コード(接続コード)を要求された場合は表示に従って入力してください。
接続が完了すると、アクセサリ欄に機器が追加されます。

本製品のリモコン(LT-XRC3)を Bluetooth 接続するには

- 1 リモコンの  と  を同時に押し続ける
このとき、設定画面にせず番組視聴中の画面でも可能です。
- 2 リモコンの LED ランプが点滅したら、ボタンを離す
- 3 テレビの画面にチェックマークが表示され、Bluetooth 接続が完了する

「リモコンとアクセリ」の設定画面では、リモコンの機種名はお買い上げ時は「TVC0GWBT」と表示されます。

Google TV での文字入力

Google アカウント上での各種文字入力などに、画面上に表示されるキーボード(スクリーンキーボード)を使用します。

△▽◀▶ を使って表示に従って操作します。

スクリーンキーボードを異なる言語に設定する方法の詳細については、「スクリーンキーボードの設定」を参照してください。

—スクリーンキーボードでの文字入力

文字入力フィールドを選び、を押す

スクリーンキーボードが表示されます。

—文字種を選ぶ

- 1
 - ・ キーボード左端の文字種を選び、入力したい文字種を選びます。
 - ・ 日本語の文字を入力する場合は「あい」を選択してください。
 - ・ 英数字を入力する場合は「ABC」を選んでください。
大文字を入力する場合はキーボード上の「↑」を押して小文字と大文字を切り替えてください。
 - ・ 記号を入力する場合は「?123」を選んでください。

△▽◀▶ で、キーボードから文字を選び、を押す

- 2
 - ・ さらに文字を入力するには、上記の操作を繰り返してください。
 - ・ 文字を削除する場合は×を押します。
 - ・ キーボード上部に予測変換の結果が表示されます。入力したい単語を選び、を押すとその単語を追加できます。

3 文字入力を完了するには △▽◀▶ で「検索(虫眼鏡マーク)」を選び、を押す

—スクリーンキーボードの設定

キーボード言語の変更や、新しいキーボードの追加、仮想リモートキーボードの有効化など、スクリーンキーボードの設定ができます。

1

リモコンの  を押す

2



→「システム」→「キーボード」の順に選び、 を押す

- ・ キーボードオプションが表示されます。

3

設定したい項目を   を押して選び、 を押す

画面の指示に従って設定を進めてください。

※上記内容はシステムの更新や、アプリケーションの更新により、内容が異なる場合があります。

便利な機能

—音声・字幕・映像を切り替え

音声多重放送番組では主音声、副音声、主：副に切り替えることができます。

1  を押す

▲▼で選択したい音声を選び、 を押す

- 2
- ・受信している番組によって、表示内容が異なる場合があります。
 - ・二か国語放送・二重音声放送のテレビ番組は、番組表に  のアイコンが表示されています。ステレオ音声の番組は、番組表に  のアイコンが表示されています。

—字幕を切り替える

1 リモコンの  を押す

▲▼ で選びたい字幕を選び、 を押す

受信している番組によって、表示内容は異なります。

—字幕

「オン」や日本語を選ぶと字幕放送があれば、字幕が表示されます。

- 2
- ・オン／オフを選び、 を押す

—文字スーパー表示

- ・文字スーパー表示を選び、 を押す
押すたびに表示／非表示が切り替わります。

※字幕がない、または選択した言語の字幕がない場合は「字幕表示」を「オン」に設定しても字幕は表示されません。

※文字スーパー表示による字幕表示は、緊急警報時など、表示を「オフ」に設定していても、無条件に表示します。

これは緊急性の高い情報を表示するためです。

映像・音声・字幕を切り替える

複数の映像や音声、字幕がある場合、お好みで選択することができます。

1 放送波(地デジ・BS・CS)視聴中に  を押し、「視聴設定」を選び、 を押す

切り替えたい項目を選び、 を押す

- ・ 字幕
字幕を表示します。
- ・ 映像切換
映像を切り替えます。
- 2 音声切換
音声を切り替えます。
- ・ オーバースキャン
ノイズの入りやすい映像外縁部をカットし、表示する機能を追加します。
- ・ ラジオ・データ表示
チャンネルリストや番組表にラジオ・データ放送を表示する機能を追加します。
- ・ 画面表示常時表示
画面表示(チャンネル情報表示)を常時表示する機能を追加します。

3 変更したい字幕、映像、音声を選び、 を押す

字幕、音声切換はリモコンのボタンでの設定と共通です。

チャンネル情報を表示する

1  を押す
画面右上にチャンネル情報が表示されます。
もう一度  を押すと表示が消えます。

消音する

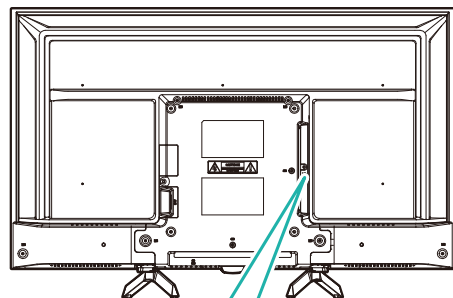
1  を押す
消音状態を解除する場合は、もう一度  を押すか、 を押してください。

メディアプレーヤーとして使用する

メディアアプリを使用して、外部の記憶装置(USB メモリーや USB ハードディスクなど)に保存されている写真の閲覧、音楽の視聴、またはビデオの鑑賞ができます。

メディアを再生する

写真、ビデオ、音楽を保存した USB メモリーなどの USB デバイスを、テレビのメディア/サービス用の USB 端子に接続する



メディア/
サービス用
USB端子

USBメモリなど



注意

USB 端子の接続する場所を間違えないようにしてください

本製品にはメディア再生用 USB 端子と録画用 USB 端子があります。

2

リモコンの  を押す

[アプリ]から[メディア]を選び、 を押す

3

- ・ 該当する一覧画面が表示されます。
- ・ ファイルやフォルダで録画した番組は再生することができません。
- ・ メディアアプリで、録画したテレビ放送番組を再生することはできません。

— サポートされているファイル形式

- 動画
VP9, HEVC, MPEG1/2, MPEG4, H.263, H.264, VC1, VP8
- 画像
jpg, jpeg, bmp, png
- 音楽
MPEG1/2 Layer 1, MPEG1/2 Layer 2, MPEG1/2/2.5 Layer 3, AC3(DD), EAC3(DDP), HE-AAC, FLAC

※著作権保護によってプロテクトされているファイルは再生できません。

※上記条件を満たすファイルであっても再生を保証するものではありません。

※ファイルによっては、字幕やチャプターの機能が使えない場合があります。

設定メニュー

各種設定

リモコンの  を押し、通知メニューからすべての設定を選択すると、各種設定を行えるメニューが表示されます。

※下記の設定はシステムの更新や、アプリケーションソフトウェアの更新などにより、内容が異なる場合があります。

また、視聴中のコンテンツの内容や入力信号の状態などにより表示される内容、選択できる項目が異なる場合があります。

→ [チャンネルと入力 P102](#)

→ [ディスプレイとサウンド P102](#)

→ [ネットワークとインターネット P104](#)

→ [アカウントとログイン P104](#)

→ [プライバシー P104](#)

→ [アプリ P105](#)

→ [システム P105](#)

→ [ユーザー補助 P105](#)

→ [リモコンとアクセサリ P105](#)

→ [ヘルプとフィードバック P105](#)

設定項目		設定内容
チャンネルと入力	チャンネル	下記、受信関係設定を行います。
	郵便番号設定	郵便番号の登録や変更を行います。
	地域	地域の登録や変更を行います。
	地上スキャン	地上デジタル放送のスキャンを行います。
	地上アッテネータ	アッテネータの設定を行います。
	BS/CS アンテナ電源	BS/CS アンテナへ電源の供給設定を行います。
	入力	外部入力の設定を行います。
	HDMI2	入力の表示、表示名変更を行います。
	HDMI1	入力の表示、表示名変更を行います。
	コンポジット	入力の表示、表示名変更を行います。
	HDMI 制御	HDMI 制御の設定を行います。
ディスプレイとサウンド	デバイスの自動電源オフ	テレビで HDMI デバイスの電源をオフにします。
	テレビの自動電源オン	HDMI デバイスでテレビの電源をオンにします。
	CEC デバイスリスト	HDMICEC 接続デバイスの表示設定を行います。 ※HDMI CEC は、HDMI ケーブルで接続されたデバイスを 1 つのリモコンで操作できる機能です。CEC に対応している機器が必要です。お使いの機器の取扱説明書もあわせてご確認ください。
	画像	下記、画像設定を行います。

	画像モード	画像モード	画像モードを選択を行います。
		バックライト	バックライトに関する設定を行います。
		明るさ	明るさの調整をします。
		コントラスト	コントラストの調整をします。
		彩度	彩度の調整をします。
		色調	色調の調整をします。
		シャープネス	シャープネスの調整をします。
		詳細設定	詳細な画像設定を行います。
		デフォルトに戻す	画像設定を初期の値に戻します。
	画面		視聴中の映像に適した画面サイズへの設定を行います。
	サウンド	下記、音声設定を行います。	
		サウンドスタイル	好みのサウンドスタイルに調節します。
		バランス	左右のスピーカーの音量バランスを調整します。
		低音	低音をお好みに合わせて調節します。
		高音	高音をお好みに合わせて調節します。
		サウンドサラウンド	音声がステレオの場合に音の広がりを調節します。
		イコライザーの詳細	各周波数帯で調整します。
		スピーカー	スピーカーからの音声出力の設定を行います。
		スピーカーの遅延	スピーカーからの音声のレイテンシー設定を行います。 映像と音声の同期を合わせる場合に使用します。
		音量の自動調整	音量の自動調整をする機能の設定を行います。
		ダウンミックスモード	ダウンミックス処理に関する設定を行います。
		ドルビーオーディオ処理	ドルビーオーディオ処理に関する設定を行います。
		ダイアログエンハンサー	セリフなど人の声を聴こえやすくする設定を行います。
		デフォルトに戻す	画像設定を初期の値に戻します。
	オーディオ出力	下記、デジタルオーディオ出力の設定を行います。	
		デジタル出力	接続機器に応じた出力の種類の設定を行います。
		SPDIF デイレイ	環境、接続機器に適したレイテンシーの調節を行います。

設定項目		設定内容
ネットワークとインターネット		下記、ネットワークとインターネット接続の設定を行います。
	Wi-Fi	Wi-Fi ネットワークの接続設定を行います。
	新しいネットワークを追加	手動でネットワークを追加できます。
	データセーバー	データ使用量を節約するための設定を行います。
	データ使用量と通知	データ使用量の確認を行います。
	常にスキャン	常時、ネットワークをスキャンする設定を行います。
	未接続	有線でのネットワーク接続状態を表示します。
	プロキシ設定	プロキシに関する設定を行います。
	IP 設定	IP アドレスに関する設定を行います。
	復帰の設定	復帰の設定を行います。
アカウントとログイン		下記、GoogleTV のアカウント登録、変更、設定等を行います。
Google TV アカウント	プロフィールのロック	アカウントの設定をロックし、編集の制限を行います。
	サービス	おすすめコンテンツに表示するサービスを選択します。
	コンテンツの設定	おすすめコンテンツの表示精度に関する設定を行います。
	予告編の自動再生	予告編の自動再生に関する設定を行います。
	非表示の購入またはレンタルしたコンテンツ	特定のコンテンツを非表示にする設定を行います。
	支払いと購入	Google Play での購入時、支払い方法の設定を行います。
	Google アシスタント	Google アシスタントに関する設定を行います。
	Google Home	Google Home に関する設定を行います。
	アプリ専用モード	ホーム画面で Google のおすすめ表示の設定を行います。
	削除	Google アカウントを削除します。
アカウントを追加する		本製品で使用するアカウントの追加を行います。
子どもを追加		本製品で使用する子ども用アカウントの追加を行います。
プライバシー		プライバシーに関する設定を行います。
	位置情報	現在の位置情報に関する設定を行います。
	使用状況と診断	使用状況のデータや障害レポートの自動送信に関する設定を行います。
	広告	広告 ID の初期化を行います。
	Google アシスタント	Google アシスタントに関する設定設定を行います。
	お支払とご購入	Google Play での購入時、支払い方法の設定を行います。
	アップデートの管理	アプリの自動更新の設定を行います。
	アプリの権限	アプリケーションへの権限の確認や設定を行います。
	特別なアプリアクセス	特別な権限が必要なアプリの確認や設定を行います。

	セキュリティと制限	提供元不明のアプリをインストール場合の許可の設定を行います。
アプリ		下記、本機に登録済みアプリの設定、管理を行います。
	アプリをすべて表示	本製品にインストール済みのアプリをすべて表示します。
	アップデートの管理	アプリの自動更新の設定を行います。
	アプリの権限	アプリケーションへの権限の確認や設定を行います。
	特別なアプリアクセス	特別な権限が必要なアプリの確認や設定を行います。
	セキュリティと制限	提供元不明のアプリをインストール場合の許可の設定を行います。
システム		下記、GoogleTV のシステム設定を行います。
	デバイス情報	システムアップデートやデバイス名設定、リセットなどを行います。 ※リセットする場合 USB HDD の登録情報も消去されるため、以前に USB HDD に録画した番組の視聴ができなくなります。 また、再度 USB HDD を使用する場合はフォーマットを行う必要があります。
	日付と時刻	日付と時刻に関する設定を行います。
	言語	メニュー言語に関する設定を行います。
	キーボード	スクリーンキーボードに関する設定を行います。
	ストレージ	ストレージの使用量などの情報を確認できます。
	スクリーンセーバー	スクリーンセーバーに関する設定を行います。
	電源と省エネ設定	電源オン時の画面やスリープタイマーなどの設定を行います。
	キャスト	キャスト中のメディアを他のデバイスで操作する設定を行います。
	システム音	システム音に関する設定を行います。
	販売店モード	販売店モードのオン／オフを設定します。
	再起動	再起動を行います。
ユーザー補助		字幕、テキストの読み上げなどユーザー補助機能の設定を行います。
リモコンとアクセサリ		付属のリモコンや Bluetooth 機器との接続設定を行います。
ヘルプとフィードバック		GoogleTV へのフィードバックやヘルプの案内情報です。

テレビ設定

TV 放送視聴中に  ボタンを押すと、テレビ設定が表示されます。

各テレビ設定画面では  で選び、 で操作し、以下の設定が行えます。

※設定状況やシステムアップデートにより、表示内容が変更される場合があります。詳しくは画面の表示をご確認ください。

→ [視聴設定 P106](#)

→ [録画機能 P106](#)

→ [機能設定 P106](#)

→ [本体情報 P106](#)

視聴設定	機能
字幕	字幕放送対応の番組の場合、字幕を表示することができます。 番組に字幕データが含まれていない場合は、字幕、文字スーパー共に表示されません。
映像切換	複数の映像が含まれる番組の場合、任意の映像に切り換えることができます。
音声切換	複数の音声が含まれる番組の場合、任意の音声に切り換えることができます。
オーバースキャン	周辺部の映像の歪みや、ノイズを表示しないように周辺部をカットする機能を設定できます。
ラジオ・データ表示	チャンネルリストや番組表画面にラジオ放送チャンネルやデータ放送チャンネルを表示する機能を設定できます。
画面表示常時表示	画面表示を常時行う設定ができます。
録画機能	機能
録画リスト	録画番組を確認、再生、削除などを行えます。
予約リスト	録画・視聴予約の確認、変更、取り消しなどを行えます。
USB-HDD 設定	録画用 USB-HDD(ハードディスク)機器の登録、設定、取り外しなどを行えます。
オートチャプター設定	録画番組にチャプターマークを付ける設定ができます。
機能設定	機能
信号レベル	放送信号の受信状態を確認することができます。
チャンネル番号設定	お好みのチャンネルをリモコンの  ～  に割り当てることができます。
チャンネルスキップ設定	 によるチャンネル切換の際に、スキップするチャンネルを設定できます。
暗証番号設定	視聴制限設定を行うための暗証番号を登録することができます。
視聴制限設定	放送番組ごとに視聴年齢が設定されている場合、視聴に制限を掛ける設定を行えます。 暗証番号を設定した上でご利用ください。
無信号オートパワーオフ	放送信号や外部入力機器からの信号がない場合、自動的にテレビを待機状態にする設定ができます。
本体情報	機能
お知らせ	放送局や本製品からのお知らせがあった場合に内容を確認できます。
個人情報初期化	初期化を行い、設定した項目をお買い上げ当時の設定に戻すことができます。 テレビに関連する設定のみ削除されます。 Google 関連の設定情報は、「設定」→「システム」→「デバイス情報」→「リセット」の項目から「出荷時設定にリセット」を選択することで実施されます。

ソフトウェア情報	テレビアプリの本体情報や B-CAS カード情報、ライセンス情報を確認することができます。
----------	---

設定の初期化

お買い上げ時の設定(工場出荷設定)に戻します。

本製品に設定されたすべての内容がお買い上げ時の状態に戻ります。

テレビ設定の「本体情報」→「[個人情報初期化 P106](#)」で 初期化を行い、設定した項目をお買い上げ当時の設定に戻すことができます。テレビに関連する設定のみ削除されます。

Google 関連の設定情報は、「設定」→「システム」→「デバイス情報」→「リセット」の項目から「出荷時設定にリセット」を選択することで初期化が実施されます。

- ・ データ放送の個人情報(住所、氏名、視聴ポイント数など)などについてもすべて初期化されますので、本製品を廃棄処分する場合や他の人に譲り渡す場合に行ってください。



注意

- ・ 初期化は、テレビを他の人に引き渡す場合や、テレビを廃棄する場合にのみ行ってください。
- ・ 初期化すると、テレビに記録されているすべての個人情報が消去されます。個人情報とは、双方向データ通信サービスなどで登録した情報や獲得ポイント、位置情報、Google アカウント、アプリの設定やデータ、ダウンロードしたすべてのデータです。
- ・ 初期化を行うと、初期化前の状態に復元することはできません。
- ・ 録画に使用した USB ハードディスクの登録情報は消去されません。消去する場合は登録解除を実施してください。
- ・ 過去に本製品で行った、双方向のデータ放送で放送局に登録されている情報や、アプリからコンテンツプロバイダーに登録された情報などは消去されません。各サービスにて、必要に応じ会員登録や契約の解約、解除などを行ってください。

お手入れ

乾いた布で拭いてください。

※ 汚れがひどいときは、水を含ませた布をよく絞り、拭き取った後は、から拭きしてください。

！ お願い

- ・ お手入れの際は、必ず本製品および接続している機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・ ベンジンやシンナーは使わないでください。化学ぞうきんの使用は、注意書きにしたがってください。
- ・ 殺虫剤や揮発性のあるものをかけないでください。
- ・ ゴムや粘着テープ、ビニール製品などを長期間接触させないでください。
- ・ 液晶パネルの保護のため、パネルにかたいものやとがったものを当てたり、強く押したりこすったりしないでください。傷・変色の原因になります。
- ・ 液晶パネルの表面に、結露による水滴など液体が付着した状態で使用しないでください。色むら・変色の原因になります。

こんなときは

まずはじめにご確認ください

— 電源が入らない場合

- ・ 電源プラグはコンセントに確実に接続されていますか？

— リモコン操作ができない場合

- ・ リモコンの乾電池は正しい極性(⊕ ⊖)で入っていますか？
- ・ リモコンの乾電池が消耗していませんか？(消耗している場合は交換が必要です。)
- ・ テレビのリモコン受光部に向けて操作していますか？
- ・ リモコン受光部に直射日光や照明の強い光などが当たっていませんか？

— 映像や音声が出ない場合

- ・ 電源プラグやアンテナケーブル、外部接続機器が確実に接続されていますか？
- ・ テレビや外部機器の電源は入っていますか？
- ・ 入力切替は合っていますか？
- ・ 音量は最小になっていませんか？ [消音]になっていませんか？
- ・ ヘッドホンが接続されていませんか？

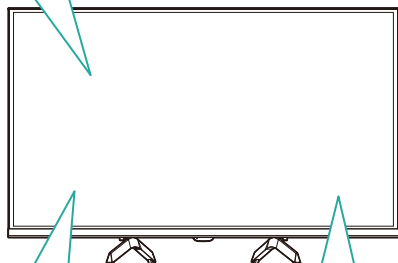
関連ページ

- ・ [こんなときは異常ではありません P111](#)
- ・ [故障かな？と思ったら P112](#)

こんなときは異常ではありません

画面上に、赤や青、緑に点灯したままの点や点灯しない黒い点がある

液晶パネルには、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります。



内部から
「カチッ」という音がる

待機状態で番組情報取得などの動作時に、内部から「カチッ」という音が聞こえることがあります。

キャビネットから
「ピシッ」という音がる

部屋の温度変化でキャビネットが伸縮するときに発生。画面や音声などに異常がなければ心配ありません。

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店、または[アイリスコール P130](#)(☎ [電話をかける](#))へお問い合わせください。



警告

・ ご自分で分解・修理・改造をしないでください。

関連ページ

- ・ [まずはじめにご確認ください P110](#)
- ・ [故障かな？と思ったら P112](#)

故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、以下の項目を確認してください。

— 突然電源が切れた

→ オフタイマーを設定していませんか？

- ・ オフタイマーの設定を確認してください。(→ [オフタイマー P92](#))

→ 操作しない状態や信号を受信しない状態が長く続いていませんか？

- ・ 省エネ設定の「無操作自動電源オフ」や、ツール-機能設定-無信号オートパワーオフの設定を確認してください。(→ [省エネ設定 P105](#)、[無信号オートパワーオフ P106](#))

— 外部機器の映像が出ない

→ 外部機器と正しく接続されていますか？

- ・ 外部機器の接続と電源を確認してください。

— 放送が受信できない

→ 付属の miniB-CAS カードが挿入されていますか？

- ・ 付属の miniB-CAS カードの挿入方向を確認して、カチッと音がするまで挿入してください。

— 映りが悪い、映像や音声にノイズが混じる、映像や音声が出なくなることがある、映像が静止することがある

→ アンテナケーブルが正しく接続されていますか？

- ・ 信号レベルを確認してください。(→ [アンテナを調整する P46](#))
推奨の数値に満たない場合はアンテナやケーブルの状態を確認してください。
- ・ アンテナを調整し直し、確実に固定してください。

→ アンテナの向きが、風や振動によって変わっていませんか？

- ・ アンテナを調整し直し、確実に固定してください。

→ アンテナケーブルが劣化していませんか？

- ・ 販売店にご相談ください。

→ 天候による電波の減衰や、強風時にアンテナが揺れていませんか？

- ・ 雷雨や豪雨の中では、受信電波が弱くなり、また雪がアンテナに積もると受信状態が悪くなるため、一時的に映像や音声が止まったり、場合によってはまったく受信できなくなったりすることがあります。天候の回復を待ってください。

— 色あいが悪い、色が薄い

→映像メニューが映像と合っていますか？

- ・ リモコンの  →「すべての設定」→「ディスプレイとサウンド」→「画像」→「画像モード」で適切なものを選んでください。(→[画像 P102](#))

— 画面が暗い

→明るさが正しく調整されていますか？

- ・ 「バックライト」や「コントラスト」を調整してください。(→[画像 P102](#))

— テレビや外部機器の音が出ない

→音量が最小になっていませんか？

- ・ 音量 + ボタンで音量を調整してください。

→「消音」状態になっていませんか？

- ・ 消音ボタンを押して消音を解除してください。

→ヘッドホンが接続されていませんか？

- ・ テレビの音量を下げ、音声出力端子からヘッドホンを抜いてください。

— サウンドスピーカーを接続しても音が出ない

→デジタル音声の出力ポートが適切に選ばれていますか？

- ・ 接続している端子が正しいか確認してください。

— ヘッドホンを接続しても音が出ない、音が小さい

→ヘッドホン音量が 0 または小さくなっていませんか？

- ・ リモコンで音量を大きくしてください。

— BS / 110 度 CS デジタル放送が受信できない

→他の miniB-CAS カードを使用していませんか？

- ・必ず本製品に付属の miniB-CAS カードを使用してください。他のテレビに付属の miniB-CAS カードを使用した場合は、BS / 110 度 CS デジタル放送が受信できないことがあります。

— 110 度 CS デジタル放送が受信できない

→110 度 CS デジタル放送に対応したアンテナやケーブルが使われていますか？

- ・ 110 度 CS デジタル放送に対応したアンテナやケーブルを使用してください

— 引っ越ししたら、地上デジタル放送が受信できなくなった

→地域によって放送局のチャンネルが変わります

- ・ 「チャンネル設定」をやり直してください。(→[チャンネルと入力 P102](#))

— 番組表が表示されない、表示されるチャンネルが少ない

→お買い上げ時、または長時間電源を切った状態の後、番組表の表示に時間がかかる場合があります

- ・ しばらく視聴すると表示されます。

— 番組表に載っているのに映らないチャンネルがある

→初期スキャンをするときに、電波が弱くても地域の放送局をひろってしまうことがあります

— 番組表で、1 つの放送局に 1 つのチャンネルしか表示されない

→番組表を表示して、「ツール」ボタンを押して番組表の設定ができます

— USB ハードディスクが認識されない

→本製品に対応した外付け USB ハードディスクを使っていますか？

- ・ 本製品で動作確認済みの機器をお勧めいたします。動作確認済み機器については、「[動作確認済み外付け USB ハードディスクについて P128](#)」をご覧ください。

→外付け USB ハードディスクが正しく接続されていますか？

- ・ 外付け USB ハードディスクを正しく接続してください。(→[録画用ハードディスク P58](#))
USB ハブは使用できません。

—録画できない

→外付け USB ハードディスクが本製品に登録されていますか？

- ・ 外付け USB ハードディスクを本製品に登録してください。(→[録画用ハードディスク P58](#))

→外付け USB ハードディスクの電源が入っていますか？

- ・ 電源オンが必要な外付け USB ハードディスクの場合は、電源をオンにしてください。

→外付け USB ハードディスクの空き容量が不足していませんか？

- ・ 不要な番組を消去してください。(→[録画した番組を削除する P89](#))

→録画できない映像です

- ・ コピー禁止の番組や、独立データ放送、外部入力からの映像・音声は録画できません。

—録画した番組が再生できない

→本製品以外で再生していませんか？

- ・ 本製品で録画した番組は、本製品以外ではご覧になれません。

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店、または[アイリスコール P130](#)( [電話をかける](#))へお問い合わせください。



- ・ ご自分で分解・修理・改造をしないでください。

関連ページ

- ・ [まずはじめにご確認ください P110](#)
- ・ [こんなときは異常ではありません P111](#)

利用規約、プライバシーポリシーおよび Cookie に関する通知

I. 利用規約

この利用規約(以下、「本規約」といいます。)は、お客様が、アイリスオーヤマ株式会社(以下、「弊社」といいます。)から購入いただいた本テレビ(以下、「本製品」といいます。)を利用するに当たり、本製品を通じてお客様に提供されるコンテンツおよびサービス(以下、総称して「本サービス」といいます。)に関する利用条件、利用方法その他の事項を定めたものです。同意ボタンをクリックした場合、もしくは本サービスの利用を開始した場合、お客様は、本規約に同意いただいたものとみなします。

I-1. 許諾の範囲

本製品には、弊社以外のプロバイダー(以下、「第三者プロバイダー」といいます。)により提供されるコンテンツおよびサービス等が含まれます。弊社及び第三者プロバイダー(第三者プロバイダーの権利元となる原権利者も含みます。以下同じ。)は、お客様に明示的に付与されていない限り、すべての権利を留保するものとします。

弊社は、お客様に対し、お客様が日本国内に限り本製品で本サービスを通常利用する範囲でのみ使用权を許諾するものとし、当該使用权は、非独占的で譲渡することはできません。なお、本サービスの利用は、本規約に基づいてお客様に許諾されますが、お客様に何ら移転・譲渡されるものではありません。

お客様は、本サービスを、複数のデバイスで同時に利用できるようネットワーク上で配布を行ったり、または利用可能な状態にしたりすることはできません。お客様は、いかなる場合においても、本サービスをレンタル、リース、販売、再配布、または再許諾等することはできず、また、お客様は、本サービスの全部又は一部の変更、コピー、逆コンパイル、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、再発行、アップロード、投稿、送信、翻訳、ソースコードの派生、派生物の作成、またはその他の方法で悪用することはできません。

この許諾の条件は、本サービスがアップデート等された場合も、同様に適用されます。ただし、当該アップデート等に別途ライセンスが付随する場合は、そのライセンスの条件が適用されます。なお、本サービスのアップデート等にかかる費用がもし発生する場合は、お客様が負担するものとします。

I-2. 第三者プロバイダーが提供するサービス利用

本サービスには、第三者プロバイダーが提供するコンテンツおよびサービス等(以下、「第三者サービス」といいます。)が含まれます。第三者サービスの内容は、第三者プロバイダーの判断により提供されるものであり、お客様は、当該第三者プロバイダーの定める利用規約その他の条件に従って利用するものとします。お客様は、自らの責任と判断により、第三者サービスを利用するものとし、弊社は第三者サービスにより提供される内容について、責任を負わないものとします。なお、第三者サービスの内容について、その完全性、正確性及び有効性等について、弊社は一切の保証をしません。

第三者プロバイダーの制限により、本製品(その周辺機器を含む)の全部又は特定の機能、アプリケーションなど本サービスの一部が利用できない場合があります。本サービスの一部の機能には、第三者プロバイダーの提供するサービス内容により、別売となる場合や、周辺機器の購入が必要になる場合、もしくは会費が必要になる場合もあります。

また、第三者サービスは、法律上保護されている専有コンテンツ、情報、および資料等が含まれる場合があります。お客様は、明示的に許可された場合を除き、いかなる方法でもそのような第三者の資料を利用、複製、変更、賃貸、リース、貸与、販売、配布等してはならず、その派生物の作成もしてはならないものとします。

I-3. 広告・宣伝物等

お客様は、本サービスのいずれかを利用することにより、意図せず不快またはお客様自身が好ましくないと感じるコンテン

ツに遭遇する可能性があります。また、本サービスには、広告や宣伝物を含むことがあります。これらは本サービスの提供を受けるうえで必要なものであることを、お客様はあらかじめ承諾するものとします。

弊社及び第三者プロバイダーは、これらの広告や宣伝物等の正確性、適法性、信頼性、有効性について、明示か黙示かを問わず、何らの保証も行わないものとします。

年少者への配慮について

なお、本サービスの一定のサービス、コンテンツは、年少者の利用に適さないものを含むことがあります。これらのサービス、コンテンツについては、お客様自らの責任で、監視、監督を行い、お客様自らの責任で利用するものとします。

I-4.非保証

すべての本サービスについて、弊社は、明示または黙示を問わず、その完全性、正確性及び有効性等について、一切の保証をしません。

また、本サービスは、メンテナンスその他の事由により、いつでも変更、一時停止、削除、終了、または中断される場合があります。アクセスが無効になる場合があります。本製品は、機能改善やバグの修正等のため、弊社または第三者プロバイダーによりアップデートされることがあります。

アップデートは、弊社又は第三者プロバイダーの判断により行われるものとし、これらのアップデートにより、本サービスの機能が変更されたり、一部の情報が削除されたりする可能性もあります。弊社は、これらのアップデートを含む変更、本サービスの中断、中止その他の障害について、弊社に故意又は重過失のない限り、責任を負わないものとします。

お客様は、本製品又は本サービスの利用のために必要な機器、通信手段等の環境を自らの費用と責任で備えます。本サービスの利用にあたり必要となる通信費用は、お客様の負担とします。お客様は、お客様情報及び通信機器の管理責任を負うとともに、お客様情報及び通信機器の管理不十分、利用上の過誤、第三者の利用等による損害の責任はお客様が負うものとします。また、弊社又は第三者プロバイダーは、送受信データの消失、データの送受信エラー等のお客様の送受信に関する事項について、弊社に故意又は重過失のない限り、責任を負わないものとします。

お客様は、法令の範囲内で本サービスを利用しなければならないものとします。本サービスの利用に関連してお客様が日本又は外国の法令に触れた場合でも、弊社は責任を負いません。また、予期しない不正アクセス等の行為によってお客様情報を盗取された場合でも、それによって生じるお客様の損害等に対して、弊社は、弊社に故意又は重過失のない限り、責任を負わないものとします。

弊社は、天災、地変、火災、ストライキ、通商停止、戦争、内乱、感染症の流行その他の不可抗力により本契約の全部又は一部に不履行が発生した場合、責任を負いません。

また、本サービスの利用に関し、お客様が他のお客様との間でトラブル(本サービス内外を問いません。)になった場合でも、弊社は責任を負わず、お客様間のトラブルは、当該お客様が自らの費用と負担において解決します。

I-5.禁止行為

お客様は、本規約に違反する行為、弊社又は第三者プロバイダーの知的財産権、所有権その他の権利を侵害する行為、弊社又は第三者に不利益若しくは損害を与える行為、不当に他人の名誉や権利、信用を傷つける行為、法令又は条例等に違反する行為、公序良俗に反する行為、犯罪行為、犯罪行為に結びつく行為若しくはこれを助長する行為、弊社のシステムへの不正アクセス、弊社もしくは本サービスの信用を損なう行為、他のお客様のアカウントの利用その他の方法により、第三者になりすまして本サービスを利用する行為、又はこれらの恐れのある行為を一切行ってはならないものとします。

I-6.情報の収集及び利用

弊社、本製品の製造元、及び第三者プロバイダーを含む第三者が、本製品及び本サービスの提供、改善、新機能の提供、ソフトウェアアップデート等本製品のお客様利用の向上のため、本製品、システムおよびアプリケーションソフトウェア、および周辺機器に関する技術情報及びそれらの関連情報を収集し利用する場合があります。弊社、本製品の製造元、及び第三者プロバイダーを含む第三者は、個人を特定しない形式である限り、その製品を改善するため、またはサービスやテクノロジーを提供するために、そのような情報を利用できます。

また、お客様は、本規約と合わせて、弊社の「取得情報の取扱いに関する保護方針」及び第三者プロバイダーのプライバシーポリシーも確認の上、同意するものとします。お客様が同意ボタンをクリックした場合、もしくは本サービスの利用を開始した場合には、お客様は、弊社の「取得情報の取扱いに関する保護方針」に同意いただいたものとみなします。なお、本規約および弊社の上記ポリシーの条件は弊社の判断により適宜変更されることがあります。万一、本規約および弊社のプライバシーポリシーにご同意いただけない場合、本サービスを利用することはできません。

I-7.責任の制限

弊社は、その性質を問わず、故意又は重過失のない限り、責任を負わないものとします。

I-8.規約の変更

弊社は、以下の各号のいずれかに該当する場合は、本規約を随時変更できるものとします。本規約が変更された後の本契約は、変更後の本規約が適用されます。

- (1) 本規約の変更が、お客様の一般の利益に適合するとき。
- (2) 本規約の変更が、契約をした目的に反せず、かつ、変更の必要性、変更後の内容の相当性及びその内容その他の変更に係る事情に照らして合理的なものであるとき。

当社は、本規約の変更を行う場合は、変更後の本規約の効力発生時期を定め、弊社所定の方法によりお客様にお知らせするものとします。上記(2)の場合には、その変更の周知は効力発生時期が到来するまでに行うものとします。変更後の本利用規約は、効力発生日から効力を生じるものとします。

II. 取得情報の取扱いに関する保護方針(プライバシーポリシー)

はじめに

この取得情報の取扱いに関する保護方針(以下、「本ポリシー」といいます。)は、アイリスオーヤマ株式会社(以下、「弊社」といいます。)のスマートテレビ(以下、「本製品」といいます。)及び本製品に関連するサービス(以下、「本サービス」といいます。)をお客様が利用するのに関連してお客様から収集する情報の取扱いに関して、定めたものです。本ポリシーを必ずお読みいただき、ご同意いただきますようお願いいたします。

II-1.取得する情報及び利用目的

お客様が本製品及び本サービスを利用するに当たり、取得される情報及びその利用目的は、以下の通りです。

(1) デバイス ID、バージョン情報、シリアルナンバー、プロジェクト ID、クライアントの種類

これらの情報は、本ポリシーにお客様が同意し、本サービスの利用を開始した場合に、弊社及び製造元の企業によって取得されます。但し、その利用目的は、お客様のソフトウェアアップデートの対応、お客様の本サービスの利用、本サービス内容の

改善等の目的で取得されるものであり、お客様の個人を特定する情報ではありません。

デバイス ID:本製品には、お客様が本サービスを使用する際に本製品を識別及び認証できるようにする固定の番号が保存されています。この番号をデバイス ID といいます。

デバイス特定情報:本製品は、それ自体とその構成に関するいくつかの情報を保存します。この情報には、本製品の種類、本製品のオペレーティングシステムのバージョン、パネルの解像度、プロジェクト ID 及び本製品で構成されている言語と国が含まれます。

ソフトウェアアップデート:ソフトウェアアップデートが利用可能かどうかを確認するため、もしくは適切なソフトウェアアップデートを提供するため、本製品の電源を入れるたびに、IP アドレス、デバイス ID、ソフトウェアバージョン、本製品のクライアントの種類、プロジェクト ID、ユーザー ID、及びシリアル番号の情報が取得されます。

(2) IP アドレス、MAC アドレス、ユーザー ID、言語、国情報、タイムゾーン

これらの情報は、本ポリシーにお客様が同意し、本サービスの利用を開始した場合に、弊社、製造元の企業又は弊社以外の本サービスの提供者(以下、「第三者プロバイダー」といいます。))によって取得されます。弊社及び製造元の企業における利用目的は、お客様のソフトウェアアップデートの対応、お客様の本サービスの利用及び認証、あるいはサービス内容の改善等の目的で取得されます。弊社及び製造元の企業によって取得される情報は、お客様の個人を特定する情報ではありません。但し、第三者プロバイダーにより取得される情報については、個人情報が含まれることがあり、下記に示す通り、お客様は、第三者プロバイダーにおける利用規約その他の利用条件に従うものとします。

IP アドレス、MAC アドレス:本製品には、インターネットにアクセスするときに IP アドレスが割り当てられます。ルーターがある場合、そのルーターの IP アドレスを処理する場合があります。MAC アドレスは、本製品の各ネットワークインターフェイスに割り当てられた独自の番号です。

第三者プロバイダーにより提供されるアプリケーション:本製品では、YouTube、Amazon Prime Video などの第三者プロバイダーが提供するアプリを使用することができます。アプリストアからアプリをダウンロードするか、デバイスにプリインストールされている第三者プロバイダーのアプリケーションをアクティブにすることができます。これらの第三者プロバイダーは、お客様のデータをどのように使用するかについて責任を負い、そのデータ処理の詳細は、第三者プロバイダーが提供する別の利用規約その他の利用条件に記載されます。したがって、第三者プロバイダーのアプリケーションを有効にすると、お客様に関する個人情報が当該第三者プロバイダーによって取得される場合があります。お客様は、第三者プロバイダーにおける利用規約その他の利用条件に従うものとし、弊社及び製造元の企業は、その責任について、一切負いません。これらのデータの関連処理及びそれぞれの権利については、第三者プロバイダーのアプリケーションにおける利用規約その他利用条件の内容を参照してください。

(3) 住所、氏名、メールアドレス、電話番号、サービスのリクエスト内容

お客様が、本製品の修理その他アフターサービス等のために、弊社のコールセンターへの問い合わせ、もしくはその他の方法によりお問い合わせいただいた場合に、弊社によってこれらの取得されることがあります。これらの情報の取り扱いについては、[Ⅱ-3.個人情報の取り扱いについて]の定めに記載のとおりとします。

(4) その他の情報

本サービスの内、第三者プロバイダーが提供するサービスでは、上記(1)から(3)以外の情報が取得される可能性があります。それらの情報については、お客様は、第三者プロバイダーにおける利用規約その他の利用条件に従うものとし、弊社及び製造元の企業は、その責任を負いません。

Ⅱ-2.取得した情報の取り扱いについて

弊社及び製造元の企業は、上記Ⅱ-1 で取得した情報(以下、「取得情報」といいます。)については、上記Ⅱ-1 で記載した利用目的以外の目的では利用いたしません。

但し、管轄の行政機関又は裁判所に取得情報の提供を求められる場合があります。その場合は、適用法の定めに従い、当該情報の開示を行うこととし、お客様はこれをあらかじめ了承するものとします。

また、本サービス又は本製品に関するサービスを提供するうえで、必要に応じ委託先へ委託を行う場合があります、その場合は、当該委託先に対し本ポリシーと同等の義務を課した上、取得情報を共有するものとします。

満 16 歳以下の年少者に関する安全性:弊社は、本サービスを使用する年少者のプライバシーと安全を保護するために特別な予防措置を講じることの重要性を理解しています。16 歳未満の年少者は、保護者が検証可能な同意を提供しない限り、本製品を介して情報を提供してはならないものとします。なお、弊社においてユーザーの生年月日は収集しないため、ユーザーの年齢を特定することはできませんが、もし 16 歳未満のお子様の情報を収集したことが判明した場合は、保護者の同意がある場合を除き、できる限り速やかに情報を削除する措置を講じます。

Ⅱ-3.個人情報の取り扱いについて

お客様は、本製品の保証される範囲内において、アフターサービスを受ける権利を有する場合があります。アフターサービスをご希望の場合は、アフターサービスを受けるために、弊社の指定する方法によりお問い合わせいただき、必要がある場合は、住所、氏名、電話番号、メールアドレスなどの情報を提供いただく場合があります。

(1) 利用目的

弊社が取得した個人情報は、本製品、本サービスに関するお問い合わせ対応、サポート対応等のアフターサービス提供、その後の本サービスの新機能、更新情報等に関する情報提供、本製品、本サービスの改良、改善又は新製品、新サービスの開発、統計調査、分析及びその結果に基づくサービスの改良、開発、広告の配信、プロモーション、販促活動、宣伝等の利用目的で利用いたします。

(2) 取得情報の開示・提供について

弊社は、以下のいずれかに該当する場合を除き、取得情報を第三者へ開示又は提供しません。

①ご本人の同意がある場合

②取得情報の取扱に関する業務の全部又は一部を委託する場合

※但しこの場合、弊社は委託先との間で個人情報保護に関する契約を締結する等、委託先の適切な監督に努めます。

③本個人情報保護方針の[Ⅱ-3.(3)取得情報の共同利用について]に定める場合

④人の生命、身体又は財産の保護のために必要な場合であって、ご本人の同意を得ることが困難である場合

⑤国又は地方公共団体等が公的な事務を実施する上で協力する必要がある、ご本人の同意を得ることにより当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがある場合

⑥法令に基づき開示・提供を求められた場合、その他法令で認められる場合

(3) 取得情報の共同利用について

弊社は、前項各号に該当する場合を除いては、お客様の同意なしに取得情報を第三者もしくは共同利用者に提供しません。共同利用の目的は、上記[Ⅱ-3.(1)利用目的]に定める通りとし、共同利用者の範囲は以下の通りです。

株式会社アイリスプラザ

株式会社オーヤマ

その他弊社グループ会社

(4) お問い合わせ・個人情報の開示、訂正、削除その他ご請求について

お客様の個人情報に関するお問合せ、個人情報の開示、訂正、削除その他ご請求につきましては、下記お問い合わせ先又は本製品のアフターサービスに関し、別途ご案内するお問い合わせ先にご照会ください。

■お問い合わせ先はこちら: support@irisohyama.co.jp

(5) 保証書から取得した個人情報について

お客様にご記入いただきました保証書へ記載の個人情報(住所、氏名、電話番号)は、保証期間内のサービス業務及びその後の安全点検等の業務のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

以上の他、弊社が取り扱うお客様の個人情報に関し本ポリシーに定めのない事項は、その性質に反しない限り、弊社の HP (<https://www.irisohyama.co.jp/privacy/>)に記載の弊社のプライバシーポリシーに従うものとします。

II-4.改訂について

弊社は、本ポリシーを変更することがあります。変更後の内容は、所定の方法によりお客様に通知し、又は弊社のウェブサイトに掲載したときから効力を生じるものとします。

III. Cookie に関する通知

クッキーに関する以下の通知を読んで同意してください。

お客様が本製品及び本サービスを使用する際には、お客様のプライバシーを尊重します。Cookie は、多くの Web サイトやその他のインターネットサービスで使用されており、本製品は Cookie を受け入れ、保存、送信して、これらの Web サイトやサービスが正しく動作するようにします。

弊社がお客様にサービスを提供する際に Cookie を使用することはありません。但し、第三者プロバイダーは、お客様が本製品を使用して第三者プロバイダーのサービスにアクセスするときに Cookie を使用場合があります。第三者プロバイダーが実際に使用する Cookie とその機能については、そのような第三者プロバイダーのそれぞれの Cookie に関する取扱内容を参照してください。但し、この Cookie に関する通知においては、本製品に設定できる Cookie とその管理方法について一般的な説明を提供します。

III-1.Cookie とは？

Cookie とは、本製品に配置される可能性のある小さなテキストファイルです。ウェブサイト又はテレビ局のカラーボタンサービスにアクセスすると、ウェブサイト又はサービスは、本製品に Cookie を保存する場合があります。その後のアクセス中に、本製品に配置された Cookie は、Cookie を配置した当事者に情報を送信します。クッキーは一般的であり、多くのウェブサイトやサービスで使用されています。各 Cookie には通常、Cookie の送信元のドメインの名前、Cookie の存続期間、及び値(通常は独自の番号)が含まれます。

Cookie は、機能性 Cookie と非機能性 Cookie に分類できます。機能性 Cookie は、サービスを提供するために厳密に必要な Cookie です。非機能性 Cookie は、他のすべての Cookie です。

III-2.第三者のウェブサイト

本サービスを介して第三者のウェブサイト又はサービス(以下、合わせて「第三者のウェブサイト」といいます。)にアクセスすると、第三者のウェブサイトが本製品に Cookie を配置し、第三者のウェブサイトでのユーザーの操作を追跡及び保存する可能性があります。弊社においては、そのような活動を要求又は奨励せず、そのような情報を使用しません。第三者のウェブサ

イトによるそのような Cookie の使用の詳細については、第三者のウェブサイトのそれぞれの Cookie に関する取扱い及びプライバシーに関する取扱いの内容を参照してください。

Ⅲ-3.Cookie の削除

本製品のユーザーインターフェイスを使用すると、本製品からすべての Cookie 及びその他のローカルブラウザストレージを削除できます。本製品を販売又は譲渡する前に、Google リセット又はアプリのクリアデータにより、すべての Cookie とローカルに保存されている設定を削除することを強くお勧めします。

制定 2025 年 2 月 12 日

その他の情報

仕様

型番		LT-40FGX-F1	LT-32WGX-F1	LT-24WGX-F1
画面サイズ		40V 型 (幅 878.1× 高さ 485.4mm)	32V 型 (幅 697.7× 高さ 392.3mm)	24V 型 (幅 521.5× 高さ 293.2mm)
本体寸法(約) ※スタンド取り付け時		幅 892×奥行 226× 高さ 558mm	幅 718×奥行 226× 高さ 470mm	幅 553×奥行 145× 高さ 370mm
画素数(水平×垂直)		1920×1080	1366×768	
チューナー数		地上デジタル×2／BS・110 度 CS デジタル×2		
スピーカー	チャンネル	2 チャンネル		
	音声出力	8W + 8W	5W + 5W	3W + 3W
入出力 端子	アンテナ端子	地上デジタル×1／BS・110 度 CS デジタル×1		
	AV 入力端子	3.5 mmステレオミニジャック		RCA ピンジャック x3
	HDMI 端子	HDMI×2		
	ARC 対応 HDMI 端子	HDMI1		
	HDMI 対応 入力解像度	480i、480p、1080i、720p、1080p、VGA、SVGA、XGA、WXGA、SXGA		
	音声出力	3.5mm ステレオミニジャック×1		
		光デジタル音声出力×1		
	LAN	LAN ポート(RJ45)×1		
	USB	USB2.0 端子(録画用)×1、メディア/サービス用×1		
録画機能 ※ハードディスク(別売)が ないとできません。		録画予約可能		
使用環境		温度:5 ～ 40℃／湿度:80% RH(結露なきこと)		
壁掛け金具(別売) ねじ穴寸法		200×200mm ねじ:M6×20mm×2、 M6×10mm×2	200×200mm ねじ:M6×10mm×4	200×100mm ねじ:M4×12mm×4
付属品		Bluetooth®リモコン×1、 リモコン用単 4 形乾電池× 2、 スタンド×2、 スタンド固定用ねじ×4、 AV 入力アダプター×1、 miniB-CAS カード×1、 取扱説明書、保証書	Bluetooth®リモコン×1、 リモコン用単 4 形乾電池× 2、 スタンド×2、 スタンド固定用ねじ×4、 電源コード×1、 AV 入力アダプター×1、 miniB-CAS カード×1、 取扱説明書、保証書	Bluetooth®リモコン×1、 リモコン用単 4 形乾電池× 2、 スタンド×2、 スタンド固定用ねじ×4、 miniB-CAS カード×1、 取扱説明書、保証書

— リモコン

型番	LT-XRC3
電源	DC3V(単 4 形乾電池×2)
質量	約 75g(乾電池含まず)
受光範囲	直線:約 5m 以内、左右 30°:約 5m

※ 商品の仕様は予告なく変更することがあります。

※ 本製品は日本国内専用です。海外では使用できません。

商標

- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、HDMI のトレードドレスおよび HDMI のロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。



- Google、Google TV、YouTube、Google Cast、Android は Google LLC の商標です。
- Netflix は、Netflix, Inc.の登録商標です。
- Amazon、Prime Video 及びこれらに関するすべての商標は、Amazon.com, Inc.又はその関連会社の商標です。
- Dolby、ドルビー、Dolby Audio 及びダブル D 記号は Dolby Laboratories Licensing Corporation の登録商標です。
- Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。アイリスオーヤマ株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。
- Wi-Fi は、Wi-Fi Alliance の登録商標です。
- その他、取扱説明書に記載されている社名・商品・サービス名などは、それぞれ各社が商標として使用している場合があります。

保証とアフターサービス

— 保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。
保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。

— 保証期間

保証期間は、保証書に記載されています。

保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

ただし、一般家庭以外でのご使用など、保証期間内でも無料保証の対象外になる場合があります。

詳しくは保証規定を参照ください。

— 保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店または[アイリスコール P130](#) ( [電話をかける](#))にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

— 補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、8 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

— アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店または[アイリスコール P130](#) ( [電話をかける](#))にお問い合わせください。

動作確認済み外付け USB ハードディスクについて

動作確認済み外付け USB ハードディスクは、次のアイリスオーヤマサポートページをご覧ください。

URL: https://www.irisohyama.co.jp/support/faq/products/tv/hdd_compatible.html



ソフトウェアについて

システムの安定性の改善のため、システムのアップデート(更新)を行うことがあります。

詳しくは、「[ソフトウェアダウンロードについて](#)」をご確認ください。

お問い合わせについて

お問い合わせについてはこちら

アイリスコール：[0800-919-0770](tel:0800-919-0770)（通話料無料）

9:00～17:00（年末年始・会社都合による休日を除く）

※土日祝日の 12:00～13:00 は受付を停止いたします

お客様サポート：<https://www.irisohyama.co.jp/support/>

製品の最新情報はこちら

<https://www.irisohyama.co.jp/products/electrical-appliances/large-appliances/tv-set>